

熊本

Kumamoto City

구마모토시



2009年
市勢要覧

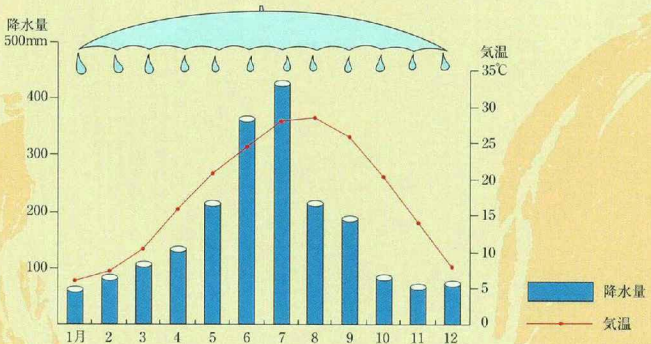
正誤表

「2009年市勢要覧」3頁の ■気温と降水量の月別変化のグラフに誤りがありましたので下記の通りお詫びして訂正致します。

■気温と降水量の月別変化

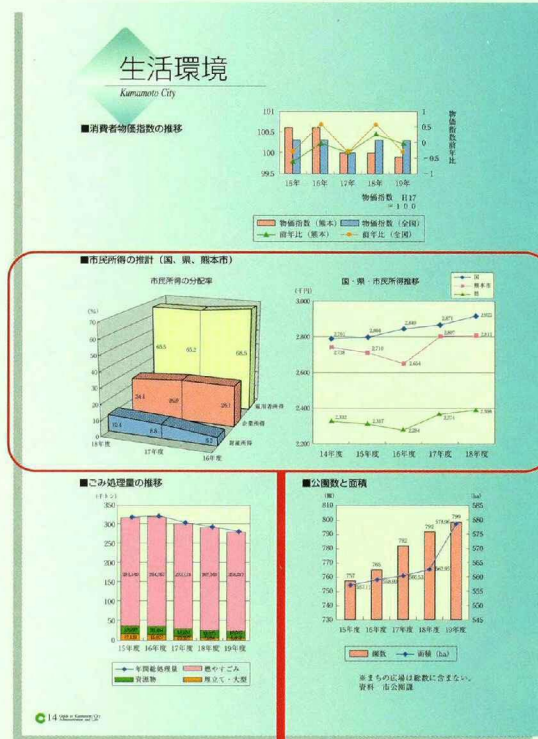
(平成16年～平成20年平均)

過去5年の降水量と気温の平均月別変化



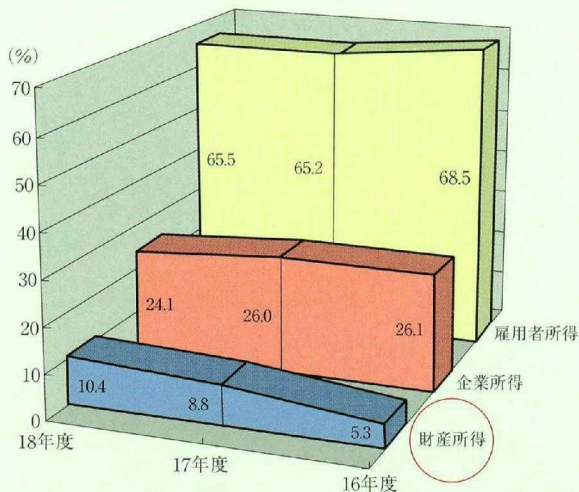
正誤表

14頁の ■市民所得の推計（国、県、熊本市）の市民所得の分配率、国・県・市民所得推移に一部誤りがありましたので下記のとおりお詫びして訂正致します。



■市民所得の推計（国、県、熊本市）

市民所得の分配率



国・県・市民所得推移

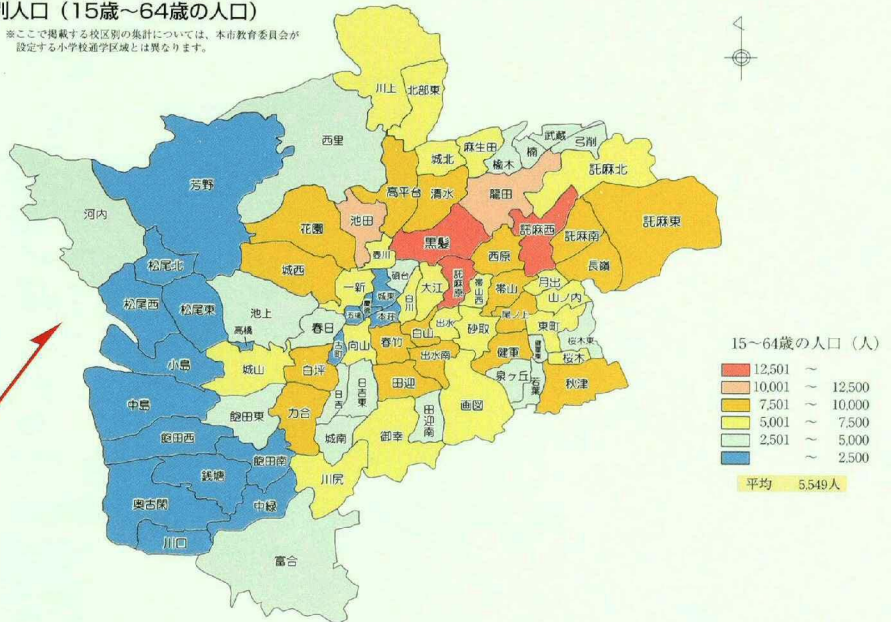


正誤表

最終頁の ■校區別人口（15歳～64歳の人口）・■校區別人口（65歳以上の人口）に一部凡例と配色に誤りがありましたので下記のとおりお詫びして訂正致します。

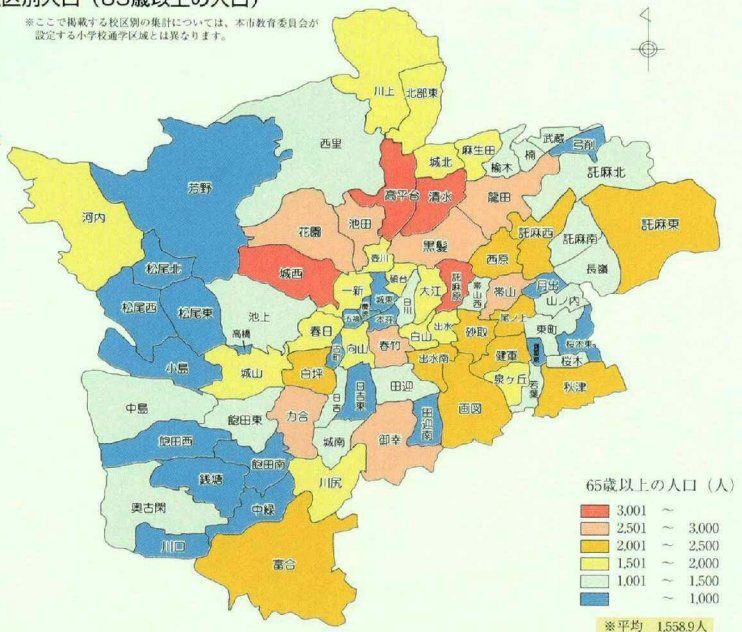
■校區別人口（15歳～64歳の人口）

※ここで掲載する校區別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。



■校區別人口（65歳以上の人口）

※ここで掲載する校區別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。



・「統計でみる熊本市」ホームページアドレス

誤 <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/aramashi/tokei/top/index.htm>

正 <http://www.city.kumamoto.jp/aramashi/toukei/top/index.htm>

Kumamoto City



熊本市章
ひらがなの「く」の字を図案化したもので、
市民の調和を基とし、たくましく発展する
熊本市の姿を太い円で示したものです。

市木・市花・市鳥

市木・市花 昭和49年10月9日制定
市鳥 昭和59年5月22日制定



KUMAMOTO CITY TREE

市木 イチョウ(イチョウ科)

熊本市民には熊本城が銀杏城といわれている
ようになじみ深く、強健で樹齢が長く、市街地
の街路に多く植栽され、独特な尖円錐形の樹形
をつくり春の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよ
く知られている。



KUMAMOTO CITY FLOWER

市花 肥後椿(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩士をは
じめ寺社地の豪族等の愛好者によって広められ
改良を重ねて、清雅枯淡の味わいある銘花となっ
たといわれている。肥後椿の特色は薄色の花弁
が主流でよく整った一重咲きで、中心に金糸銀
糸のような色鮮やかな太い雄しべが桐芯のよう
に盛りあがるところにある。



KUMAMOTO CITY BIRD

市鳥 シジュウカラ

全長約14.5cmで、美しい澄んだ声でさえずり、
多量の害虫を食べ、緑を守る益鳥として市民
に親しまれている。金峰山や立田山、託麻三
山など森に多く生息し白い胸に黒ネクタイ状
の帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じて観察
される。
(写真は、東海大学出版会提供 フィールド図鑑より)

三、商工立市の営みしげく
いま新興の光に満ちて
生気ぞあふるる文化の都
われらの都 大熊本市

四、輝く進取の旗ひるがえし
西日本の最中に立ちて
いざいざ築かむ理想の都
われらの都 大熊本市

熊本市歌 東岡 正治作詞
鳥飼 哲夫作曲
Kumamoto City song

一、霊峰阿蘇を遥かに望み
水白川の流れに沿いて
天下に名だたる古城の都
われらの都 大熊本市

二、常磐の緑 いらかを包み
森の都と世に謳われて
文運さかゆる平和の都
われらの都 大熊本市

● CONTENTS ●

熊本市(市木・市花・市鳥・市歌)目次	01
発刊にあたって	02
地域と気象	03
人口	04
第6次総合計画	06
安全・安心	10
保健・福祉	11
教育	13
生活環境	14
産業・経済・観光	15
財政	18
政令指定都市を目指して	20
行政	21
議会	22
機構	24
名誉市民	25
あゆみ	26
市民のくらし	28
資料編	29

発刊にあたって

今年、市制施行120周年を迎えました熊本市は、清冽な地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれるとともに、熊本城をはじめとした優れた歴史遺産や豊かな伝統文化を受け継ぎ、人口68万人を擁する、九州中央の拠点都市として発展を続けております。

そして今般、平成30年度を目標年次とする新たな「第6次総合計画」を策定したところであり、目指すまちの姿を「**湧々都市くまもと**」とし、多くの人が集まり、そして出会いがある新しい熊本づくりに市民の皆様と協働で取り組むこととしています。

このような中、本市は今、将来を決定付ける最も重要な時期を迎えております。

まず、昨年は富合町との合併をはじめ、益城町、城南町、植木町との法定合併協議会設置等、合併・政令指定都市の実現に向けた大きな動きがありました。

今年は、引き続き法定協議会の場で合併後の新市の姿をしっかりと描き、皆様のご理解をいただき、着実に合併・政令指定都市実現を目指してまいります。

次に、平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業へ向けには、熊本駅前東A地区再開発事業が着工します。更には熊本駅を中心とした交通網の整備や市電のサイドリザベーション化など熊本の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを進めます。

また、昨年、本丸御殿の復元により、熊本城の入場者が200万人を超えた中、本年は熊本城桜の馬場における観光交流施設の整備に着手するとともに、民間主導による事業とも連携を図りながら、熊本城を核とした中心市街地の新たな賑わい空間の創出と回遊性の向上に努めます。

このほか、福祉、教育、環境などの各分野におきましても特色のある施策を展開し、日本一住みやすく暮らしやすいまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、この「2009年市勢要覧」が皆様方のこのような本市の取り組みをご理解いただく一助となりますれば、大変幸いに存じます。

2009年4月

熊本市長 幸山 政史

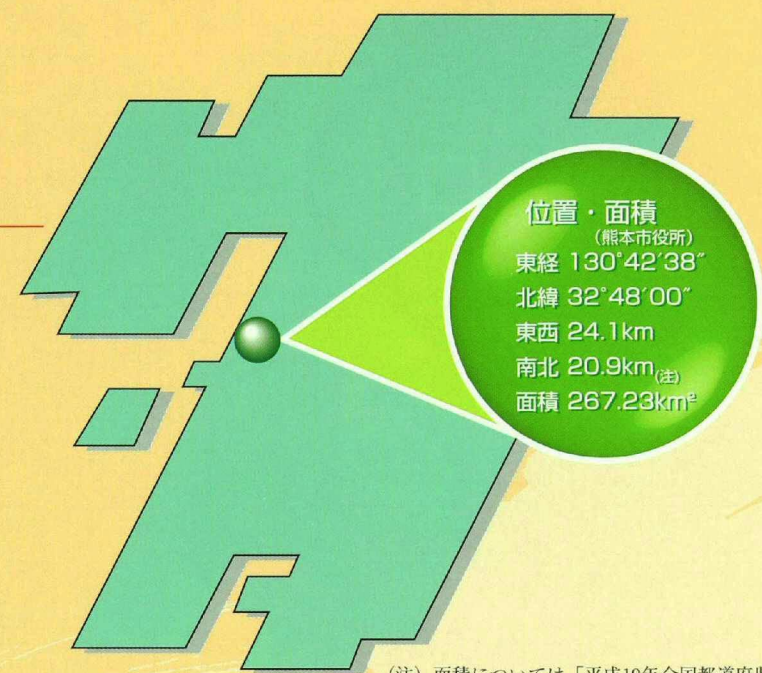
Kumamoto City

Kumamoto City 地域と気象

本市は九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分の位置にあります。

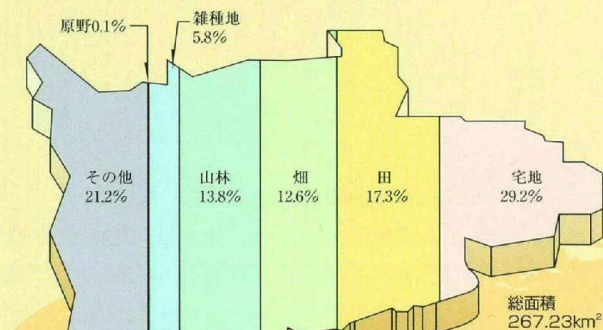
地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯であり、南部は白川の三角洲で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。



(注) 面積については「平成19年全国都道府県市町村別面積調」国土交通省国土地理院発行による。(H19.10.1現在)

■地目別土地面積 (平成20年1月1日現在)

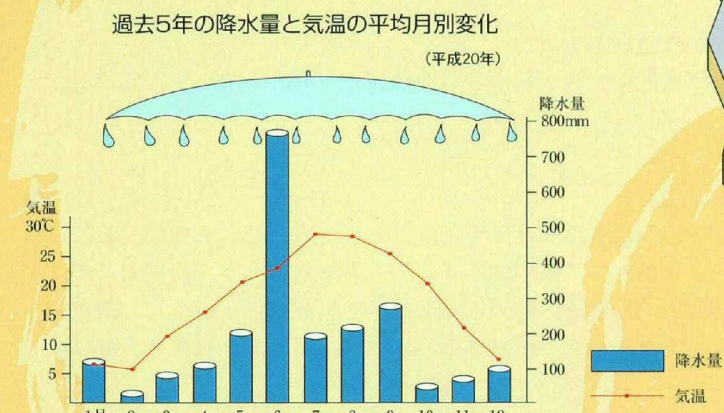


資料：資産税課

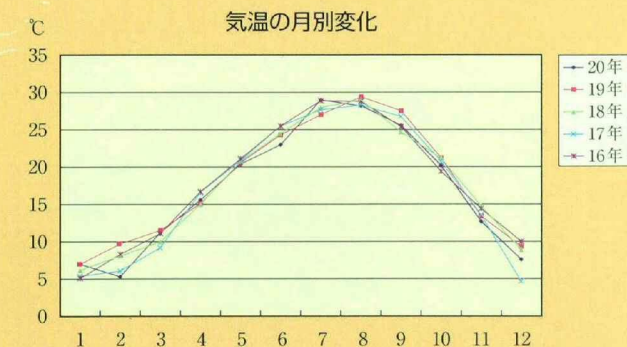
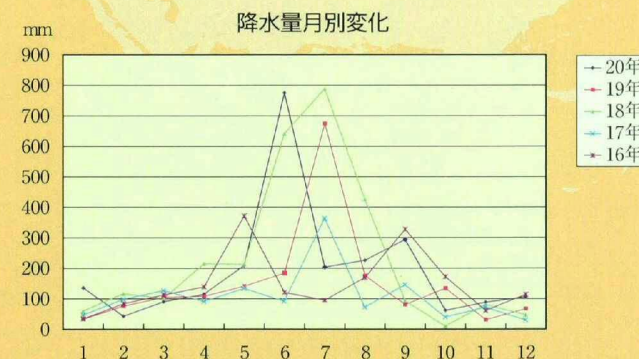
(注) 面積については「平成19年全国都道府県市町村別面積調」国土交通省国土地理院発行による。

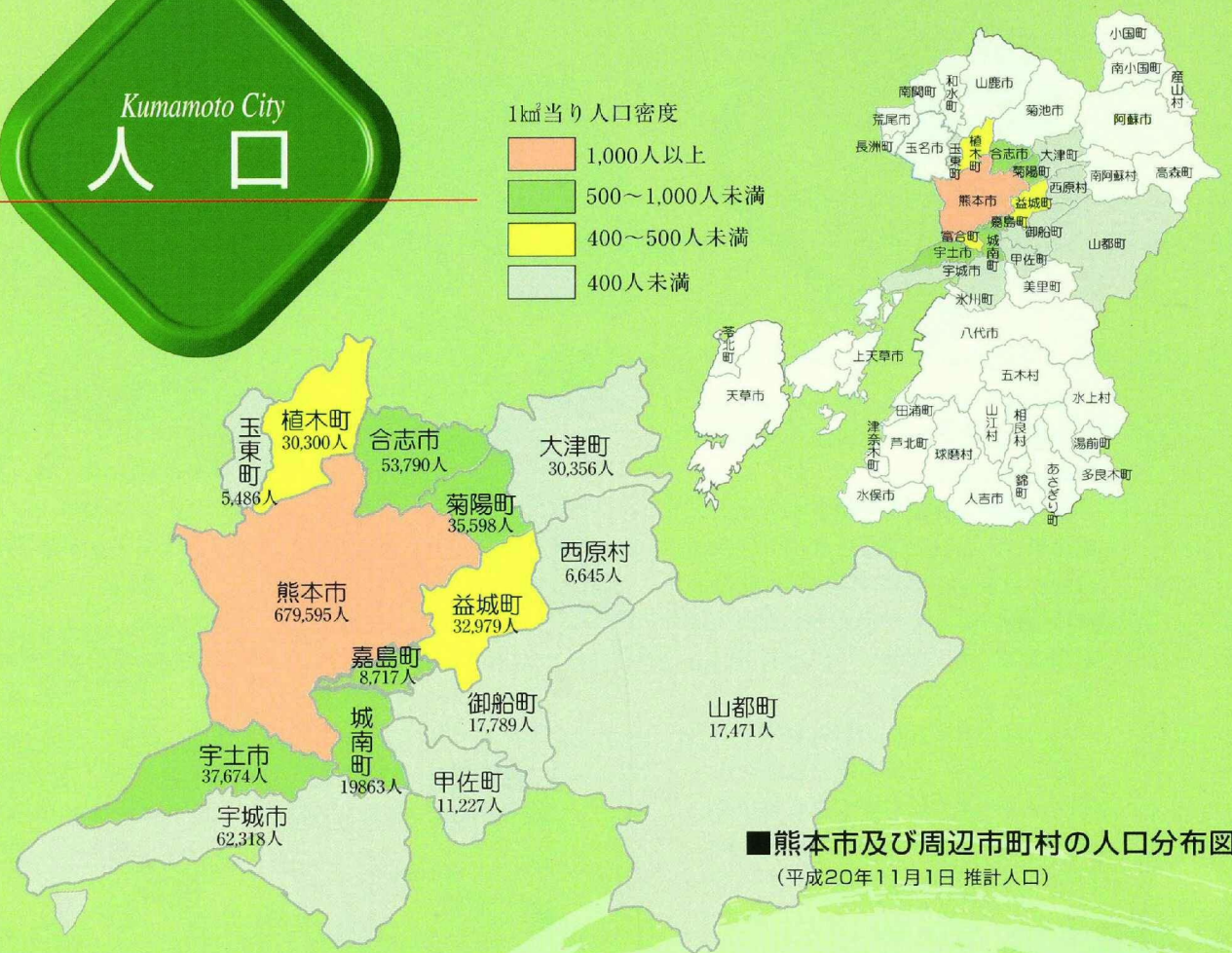
■気温と降水量の月別変化

(平成16年～平成20年平均)



(過去5年間比較)





熊本市及び周辺市町村人口

平成20年10月6日、熊本市は富合町と合併しました。

熊本市及び周辺14市町村の人口は、平成20年11月1日現在1,049,808人（推計人口）で、熊本県総人口の57.6%を占めています。

熊本市の人口推移 ー鈍化する人口増加ー

明治22年、市制施行当時42,725人（明治22年12月31日現在）であった人口は、その後、数回にわたる市域の拡大や都市化の進展により増加し、昭和52年には50万人を超え、さらに平成3年2月1日、飽託郡4町と合併し627,568人となり、全国順位は15位になりました。しかし、昭和30年国勢調査以降、5年毎に4万人前後で増加していた熊本市の人口も、平成7年以降は、伸びが鈍化してきています。

平成17年国勢調査では、熊本市の人口は669,603人、全国順位は20位となりました。これを地域分布でみると、東部207,569人、北部129,654人、南部117,470人、西部72,644人、中央部142,266人となっており、前回平成12年国勢調査に比べ、中央部・東部・北部・南部は人口が増加したものの、西部の人口は減少しています。

なお、平成20年10月6日、熊本市と富合町の合併に伴い、合併直後の平成20年11月1日現在推計人口は679,595人となっています。

※「推計人口」とは

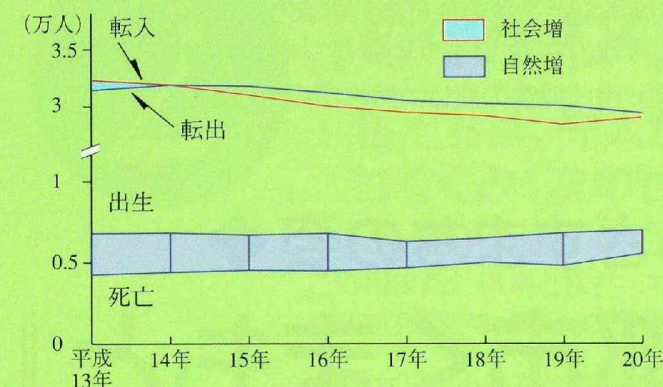
国勢調査確定値を基に毎月の転入・転出及び出生・死亡を増減したものです。

過去データや人口について詳しくは熊本市ホームページ内「統計で見る熊本市」をご覧ください。

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/aramashi/toukei/top/index.htm>

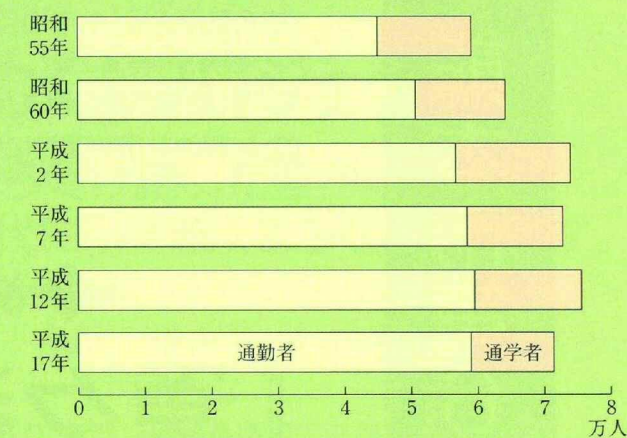
■人口動態の推移

資料：市統計課

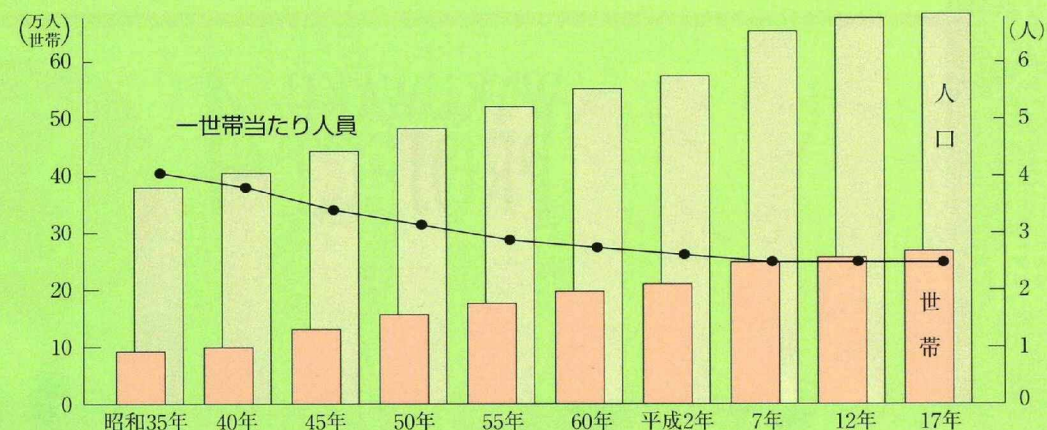


■流入人口の推移（国勢調査）

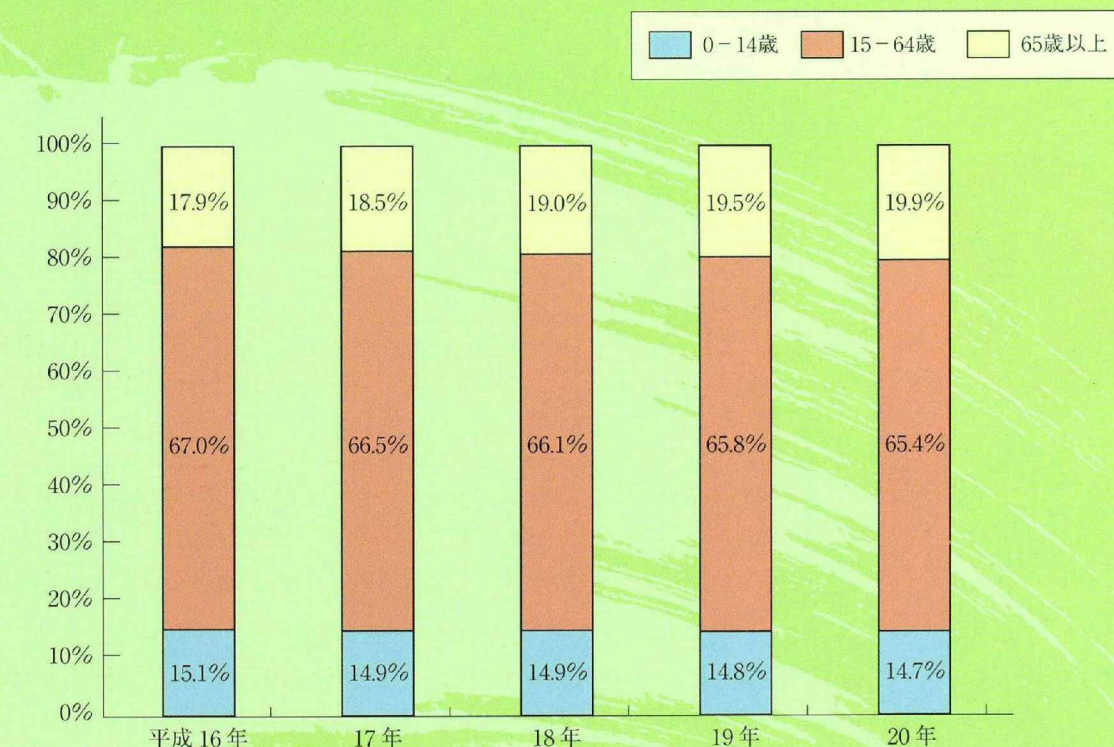
(注)現市域組替



■人口・世帯数の推移（国勢調査）



■推計人口の区分割合（17年は国勢調査確定値）



総合計画とは、本市の目指す将来像を描くとともに、その実現のためのまちづくりの方向、基本方針、主な施策などを定めた長期的なまちづくりの計画です。この計画を市民の皆さんと行政の共通・共有するまちづくりの指針とし、総合的・計画的な市政運営に努め、市民協働の新しい熊本づくりを進めていきます。

◆めざすまちの姿◆ 『湧々都市くまもと』 ～九州の真ん中! 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～

WAKUWAKU PROJECT 4

まちづくりの重点的取り組み

めざすまちの姿の実現に向け、目標年次となる平成30年度までに、特に重点的に取り組む4つのプロジェクトとそれを具体化する7つの夢わくわくプラン(「夢わく」)を進めます。

1 『くらし わくわく』プロジェクト

私たちは、すべての人がいきいきと暮らし、
将来の夢と希望を描けるまちをつくりま

す。次の時代を担う子どもたちは、まちの宝です。子どもたちの笑顔がまちを輝かせます。

子どもたちがいきいきと育ち、若者や女性、高齢者、障がいのある人なども、だれもが能力を発揮し、夢と希望を描きながら生涯にわたって「くまもと」に暮らし、その夢を実現できるまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

【夢わく1】子どもも大人もみんなの笑顔が輪になるまちをつくる

【夢わく2】だれもが能力を発揮でき、将来も住み続けたいと思えるまちをつくる

2 『めぐみ わくわく』プロジェクト

私たちは、先人から受け継いだ豊かな恵みを
はぐくみ、次の世代に引き継ぐまちをつくりま

す。「くまもと」は、歴史・文化と自然の宝庫です。この恵まれた環境と素材にさらに磨きをかけ、世界に誇れる質の高いまちをつくりあげるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

【夢わく3】ふるさとの自然を守り、世界に誇れる環境先進都市をつくる

【夢わく4】伝統と文化が息づき、「くまもと」の恵みを満喫できるまちをつくる

3 『おでかけ わくわく』プロジェクト

私たちは、だれもが気軽におでかけできるまちを
つくりま

す。おでかけが楽しいまちは、人の元気とまちの元気があふれるまちです。日常のおでかけ、休日のおでかけ、遠くへのおでかけが楽しく、便利なまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

【夢わく5】だれもおでかけしたくなるまちをつくる

【夢わく6】バス・電車、自転車などで気軽におでかけできるまちをつくる

4 『出会い わくわく』プロジェクト

私たちは、おもてなしの心で様々な出会いが
生まれるまちをつくりま

す。「くまもと」は、九州の真ん中! 九州の元気を繋ぐまちです。内外の多くの人々が「くまもと」を訪れ、楽しい豊かな時間を過ごしていただける「おもてなしのまち」をつくるため、次の「夢わく」を推進します。

【夢わく7】温かいおもてなしの心があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくる

分野別及び基本計画の 推進に向けた施策について

総合計画に基づき、次の体系に沿って施策を推進します。

分野別施策

第1章 一人ひとりの人権が等しく尊重され、わけ隔てなく参画できる社会の実現

- 第1節 人権尊重の社会づくりの推進
- 第2節 男女共同参画の推進

第2章 ともに支え合い、文化に親しみ安全で安心して心豊かに暮らせる生活の実現

- 第1節 自主自立の地域づくりの推進
- 第2節 市民生活の安全・安心の推進
- 第3節 危機管理防災体制の強化
- 第4節 消防・救急救助体制の強化
- 第5節 文化の振興と国際交流の推進
- 第6節 住民記録・土地情報の適正な管理と提供

第3章 生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健・福祉の充実

- 第1節 生涯を通じた健康づくりの推進
- 第2節 安全・安心のための保健衛生と医療の推進
- 第3節 高齢者、障がいのある人などへの生活支援
- 第4節 社会保障制度の適正な運営

第4章 子育てしやすく、子どもたちの健やかな成長をはぐくむ環境づくりの推進

- 第1節 子どもたちの健やかな成長支援
- 第2節 子育てしやすい環境づくりの推進

第5章 豊かな人間性と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の振興

- 第1節 生きる力をはぐくむ学校教育の推進
- 第2節 生涯を通じた学習・スポーツの振興
- 第3節 歴史的文化遺産の継承と活用

第6章 水と緑の良好な環境の保全と循環型社会の構築

- 第1節 環境保全活動の推進と良好な環境の保全
- 第2節 豊かな水と緑に囲まれた良好な環境の形成
- 第3節 資源循環型社会の構築

第7章 地域の活力をつくりだす産業・経済の振興

- 第1節 商工業の振興
- 第2節 観光・コンベンションの振興
- 第3節 農水産業の振興

第8章 安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実

- 第1節 計画的な都市づくり
- 第2節 魅力と活力のある中心市街地の創造
- 第3節 利便性の高い公共交通体系の確立
- 第4節 良好な道路の整備・保全
- 第5節 総合的な治水対策の推進
- 第6節 安全で良好な建築物の整備・推進
- 第7節 良質な水道水の安定供給
- 第8節 着実な污水处理施設の整備

基本計画の推進に向けて

基本計画の推進に向けて

- 1 協働と自主自立によるまちづくり
- 2 信頼される市政運営
- 3 効率的で質の高い行政運営
- 4 市域を越えた広域的連携

第6次総合計画の詳細については、熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>) をご覧ください。

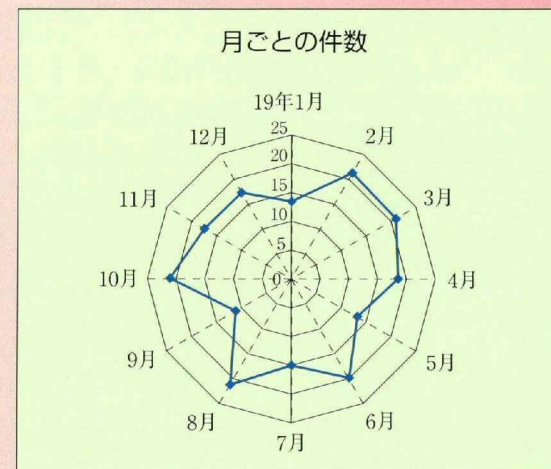
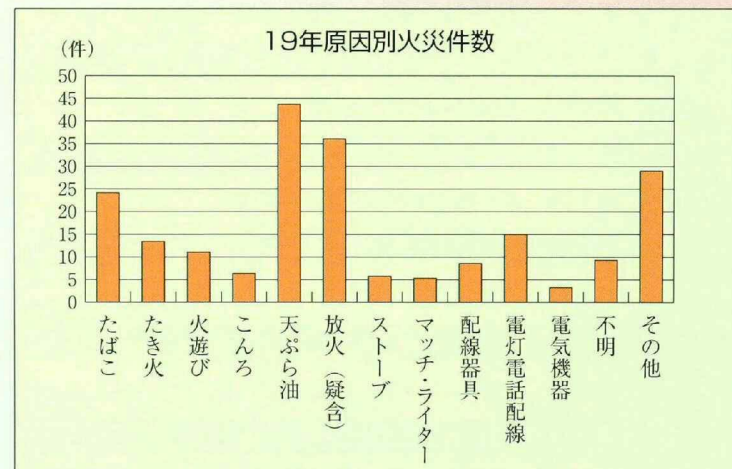
安全・安心

Kumamoto City

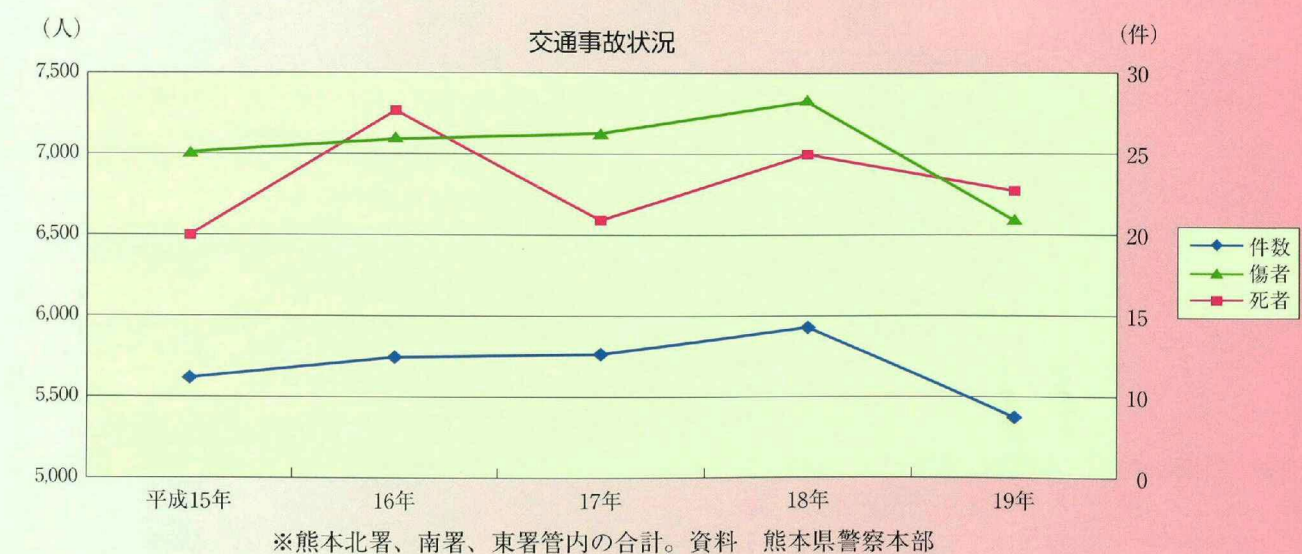
原因別火災件数及び被害状況

単位：件、千円

原因	年	平成15年		16年		17年		18年		19年	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
合計		204	173,355	219	318,588	200	148,347	202	178,002	208	200,480
たばこ		26	14,336	20	4,293	22	32,955	23	56,622	24	23,267
たき火		11	905	9	197	11	414	8	8,137	13	3,031
火遊び		5	895	3	345	16	3,533	7	7,732	11	88
こんろ		4	6,692	14	16,444	9	22,384	7	707	7	22
天ぷら油		32	15,416	31	19,465	22	587	24	4,952	43	11,160
放火（疑含）		39	46,271	48	23,883	43	20,024	52	22,615	36	8,527
風呂かまど		1	8	1	1	-	-	2	22	-	-
ストーブ		8	16,635	9	41,377	9	18,754	5	36,529	6	25,274
マッチ・ライター		7	368	3	15	4	36	8	4,124	5	83
配線器具		6	3,436	4	74,485	1	476	1	3,799	8	22,970
電灯電話配線		6	7,995	8	28,783	5	3,711	7	10,356	15	47,522
電気機器		6	471	6	1,296	2	1,518	4	28	3	2,087
不明		14	37,510	10	27,838	14	29,842	7	4,474	9	20,535
その他		39	22,422	53	80,166	42	14,113	47	17,905	28	35,914



交通事故の状況（管内）



保健・福祉

Kumamoto City

医療施設

各年10月1日現在

年次	病 院									
	施 設 数				病 床 数					
	総数	精神病院	一般病院	療養病床を有する病院(再掲)	総数	精神	感染症	結核	一般	療養病床(再掲)
15年度	90	15	75	40	14,499	2,785	12	32	7,193	4,477
16年度	91	15	75	40	14,555	2,785	12	32	7,255	4,471
17年度	90	15	75	39	14,545	2,785	12	32	7,400	4,316
18年度	89	15	74	38	14,493	2,785	12	32	7,664	4,000
19年度	87	15	72	37	14,363	2,785	12	32	7,874	3,660

年次	一 般 診 療 所						歯 科 診 療 所			
	施 設 数				病床数	療養病床(再掲)	施 設 数			病床数
	総数	有床	無床	療養病床を有する診療所(再掲)			総数	有床	無床	
15年度	583	187	396	42	2,863	419	340	2	338	20
16年度	574	171	403	42	2,681	437	343	2	341	20
17年度	585	158	435	39	2,462	411	345	2	343	20
18年度	583	147	436	26	2,301	303	356	2	354	20
19年度	587	145	442	26	2,299	283	355	2	353	20

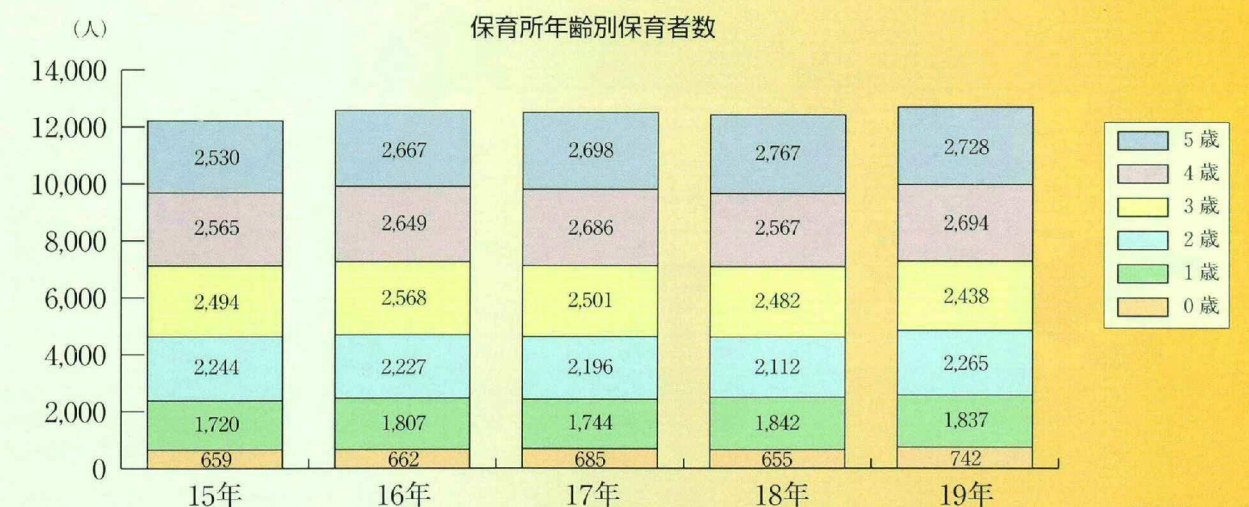
- ※ 「感染症病床」は、「感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が平成11年4月から施行され「伝染病床」から改められた。
- ※ 一般病床には、旧その他の病床（旧療養型病床群を除く）を含む。療養病床には、旧療養型病床群を含む。
- ※ 休止中を除く。

保育所の状況

各年4月1日現在

年次	保育所数	職員数	定 員	年 齢 別 入 所 者 数						
				総数	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
15年	128	2,066	11,335	12,212	2,530	2,565	2,494	2,244	1,720	659
16年	128	2,112	11,550	12,580	2,667	2,649	2,568	2,227	1,807	662
17年	128	2,076	11,650	12,510	2,698	2,686	2,501	2,196	1,744	685
18年	128	2,064	11,690	12,425	2,767	2,567	2,482	2,112	1,842	655
19年	131	2,095	12,100	12,704	2,728	2,694	2,438	2,265	1,837	742
(再掲)										
市 立	20	212	1,765	1,721	390	356	344	312	237	82
私 立	111	1,883	10,345	10,983	2,338	2,338	2,094	1,953	1,600	660

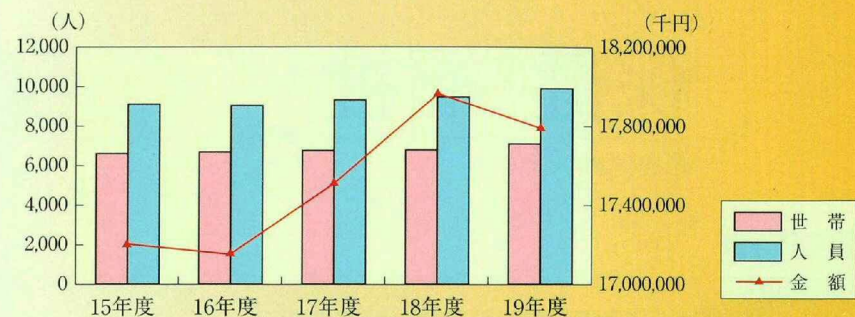
- ※数字に広域入所委託は含まれない。
- 資料 市保育幼稚園課



生活保護状況

世帯及び人員は月平均を示す。

年次	被保護実数		
	世帯	人員	金額(千円)
15年度	6,636	9,174	17,193,416
16年度	6,677	9,082	17,133,205
17年度	6,948	9,391	17,508,246
18年度	7,193	9,699	17,998,167
19年度	7,444	10,035	17,863,460



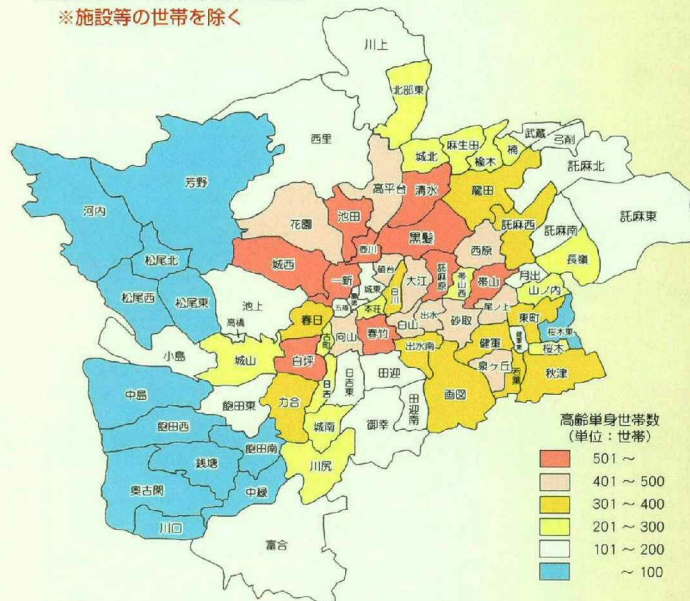
高齢者福祉

年度	高齢者数	施設 措置 人員	老人クラブ		老人福祉センタ ー利用者数 (1日平均)
			助成 対象数	会員数	
15年度	117,572	363	470	29,472	676
16年度	120,372	368	463	28,856	614
17年度	123,378	365	455	27,972	539
18年度	126,058	365	460	28,080	539
19年度	129,603	350	453	27,295	484

単位：人・所
資料：市高齢介護福祉課

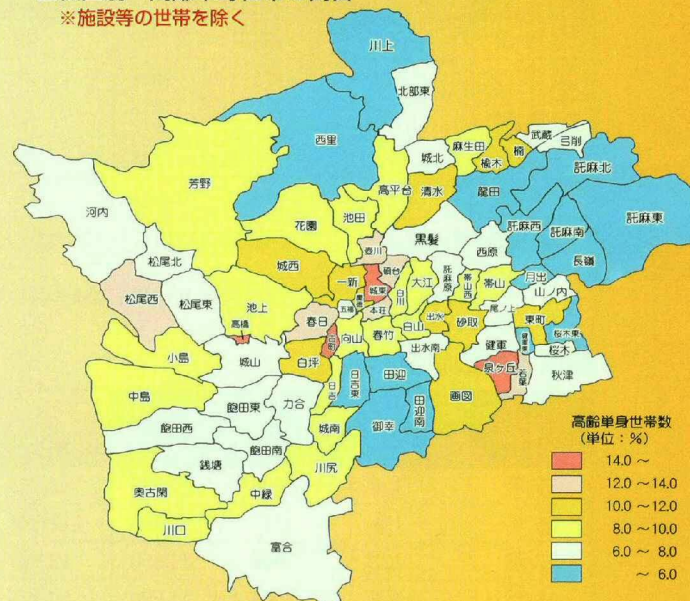
校区別 高齢単身世帯数

※施設等の世帯を除く



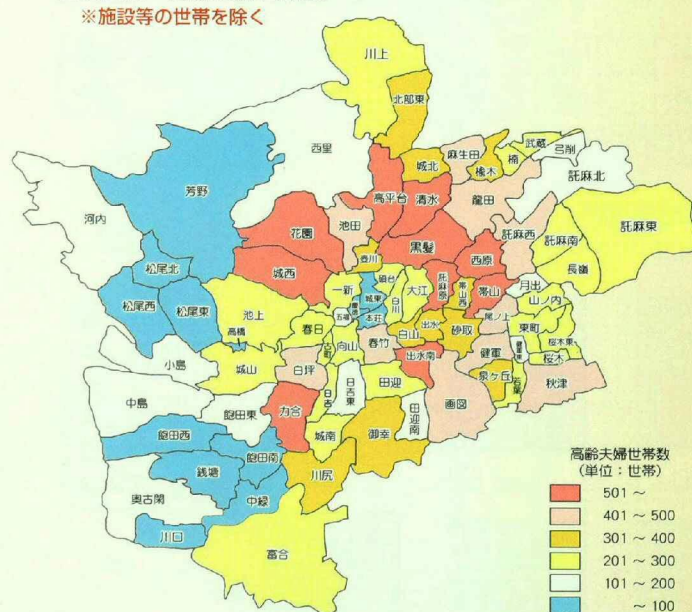
校区別 高齢単身世帯の割合

※施設等の世帯を除く



校区別 高齢夫婦世帯数

※施設等の世帯を除く



校区別 高齢夫婦世帯の割合

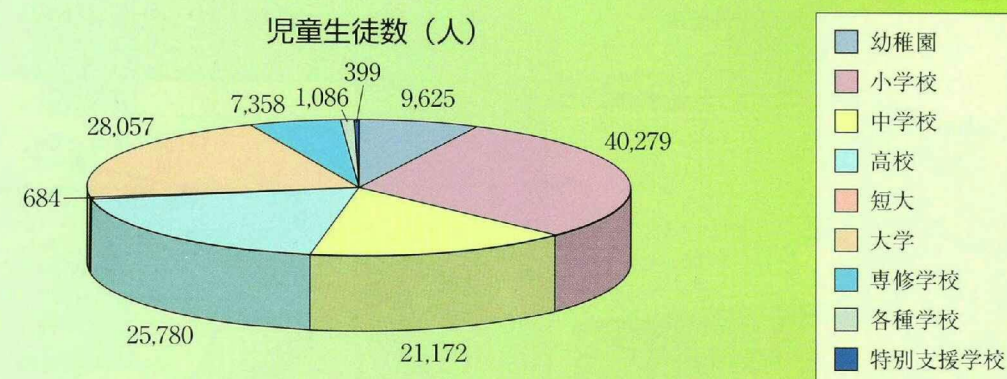
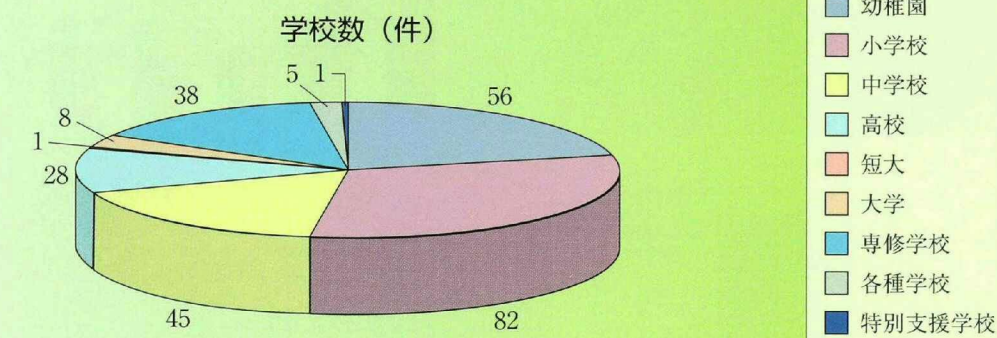
※施設等の世帯を除く



教育

Kumamoto City

学校(園)数及び児童生徒(園児)数



中学・高校生の卒業後の状況

年次	卒業者数	A. 進学者数 (含・就職進学者)	B. 教育訓練 (機関等入学者)	C. 就職者数 (A・B除く)	D. 一時的な仕 事に就いた者	A, Bのうち就 職している者	E. 左記以外 の者	F. その他 (死亡・不詳)
15年	7,664	7,489	44	42	—	17	88	1
16年	7,501	7,370	39	24	—	6	68	—
17年	7,214	7,099	31	30	—	17	50	4
18年	6,956	6,836	28	23	—	11	64	5
19年	7,186	7,052	35	24	—	7	63	12
(再掲)								
男	3,627	3,553	16	18	—	7	33	7
女	3,559	3,499	19	6	—	—	30	5

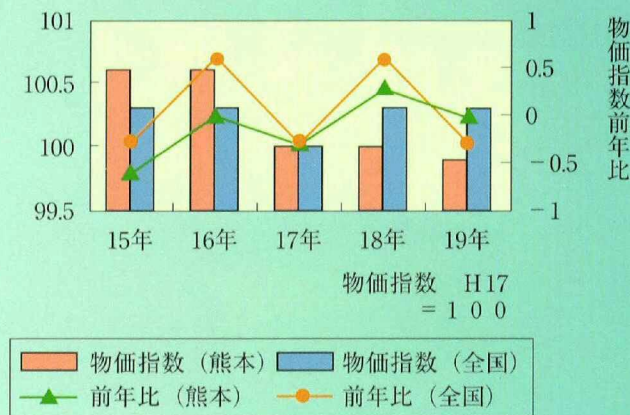
年次	卒業者数	A. 進学者数 (含・就職進学者)	B. 教育訓練 (機関等入学者)	C. 就職者数 (A・B除く)	D. 一時的な仕 事に就いた者	A, Bのうち就 職している者	E. 左記以外 の者	F. その他 (死亡・不詳)
15年	9,710	4,324	3,033	1,568	—	59	784	1
16年	9,455	3,986	3,183	1,541	160	52	585	—
17年	9,146	4,239	2,874	1,475	118	20	439	1
18年	9,000	4,278	2,624	1,542	129	35	409	18
19年	8,935	4,278	2,598	1,555	92	30	383	13
(再掲)								
男	4,412	2,059	1,297	880	24	3	144	8
女	4,523	2,235	1,301	675	68	27	239	5

※Bの教育訓練は、専修学校(高等課程・一般過程)と、公共職業能力開発施設等の入学者。
※16年度調査から一時的な仕事に就いた者の項目が追加された(高等学校のみ)
資料：県統計調査課

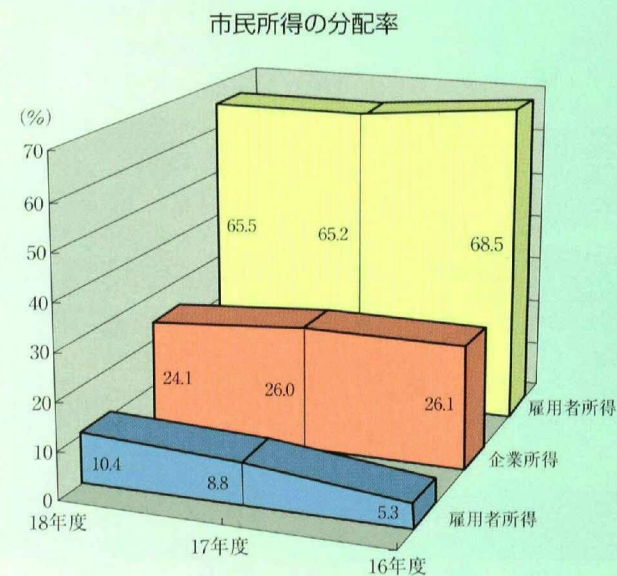
生活環境

Kumamoto City

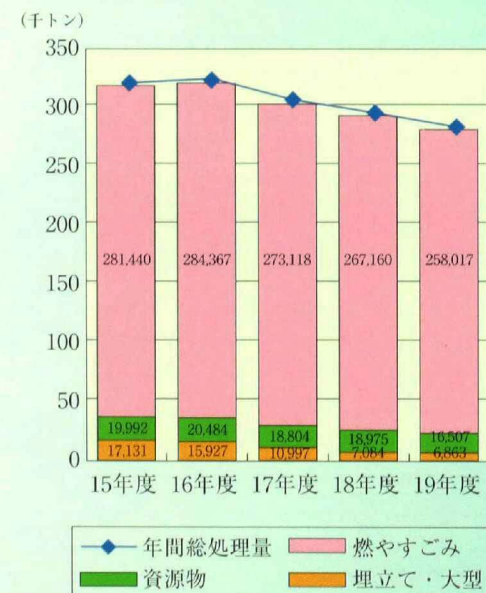
■消費者物価指数の推移



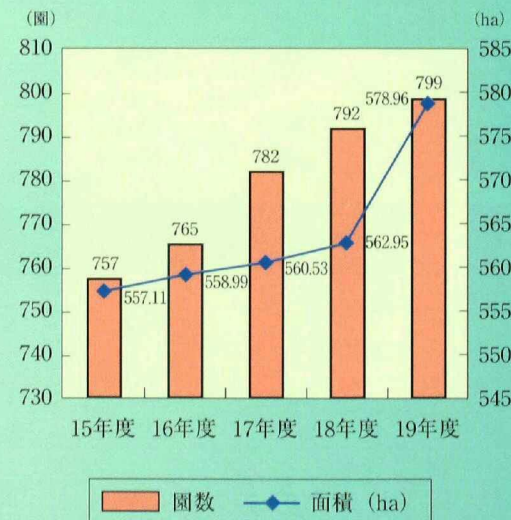
■市民所得の推計 (国、県、熊本市)



■ごみ処理量の推移



■公園数と面積



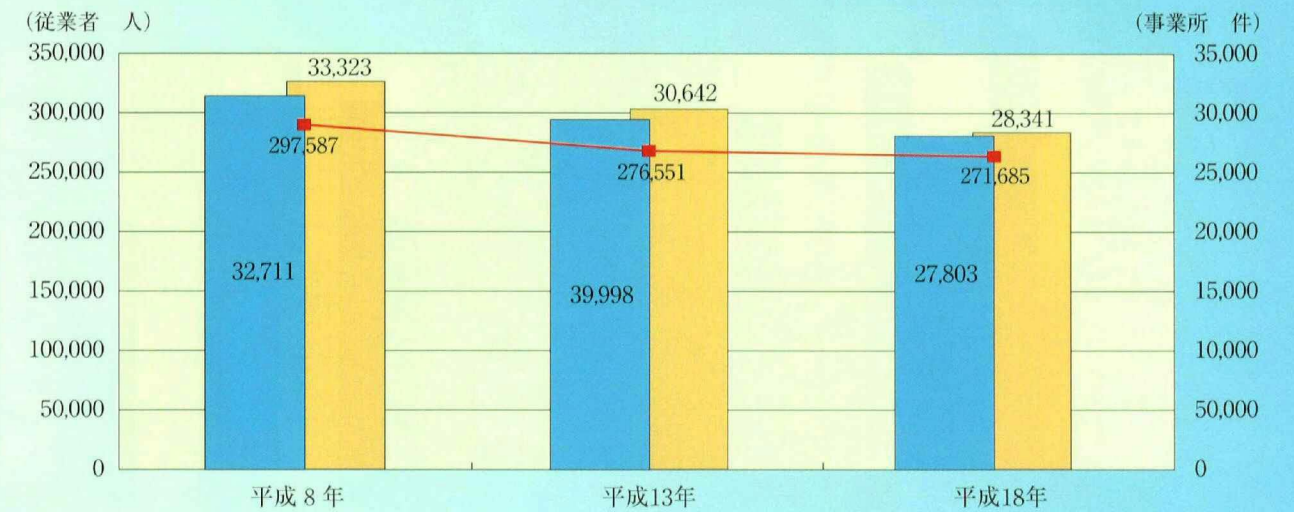
※まちの広場は総数に含まない。
資料 市公園課

産業・経済・観光

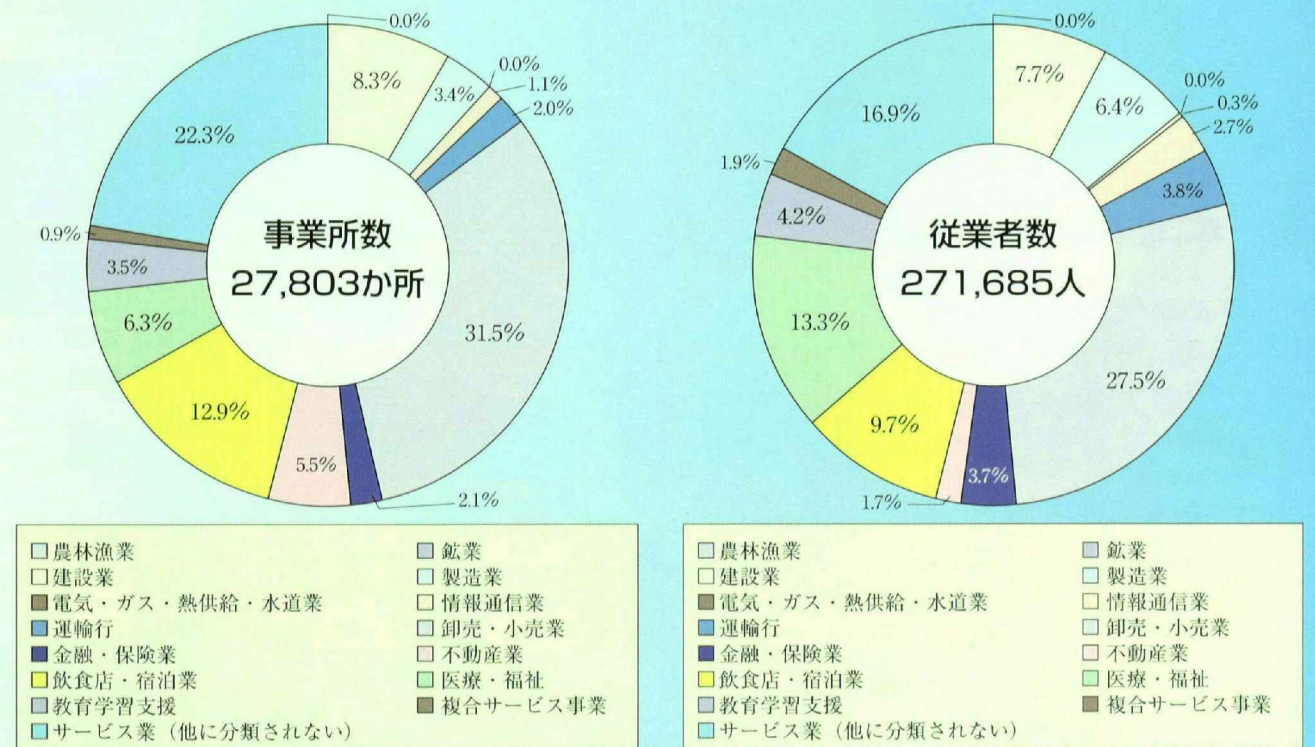
Kumamoto City

◆事業所

■事業所数、従業者数の推移 (全事業所)



■平成18年産業別構成 (民営)



熊本市の民営事業所は27,803事業所で、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービスを除くほとんどの事業所が減少となり、前回の29,998事業所から2,195事業所減少し(対前回増減率△7.3%)となっている。

産業別に見てみると、最も多いのは卸売・小売業で構成比が31.0%、続いてサービス業22.2%となっており、この二つの産業で全産業の53.2%を占め、以下飲食店・宿泊業、建設業、医療・福祉、不動産業が続いている。

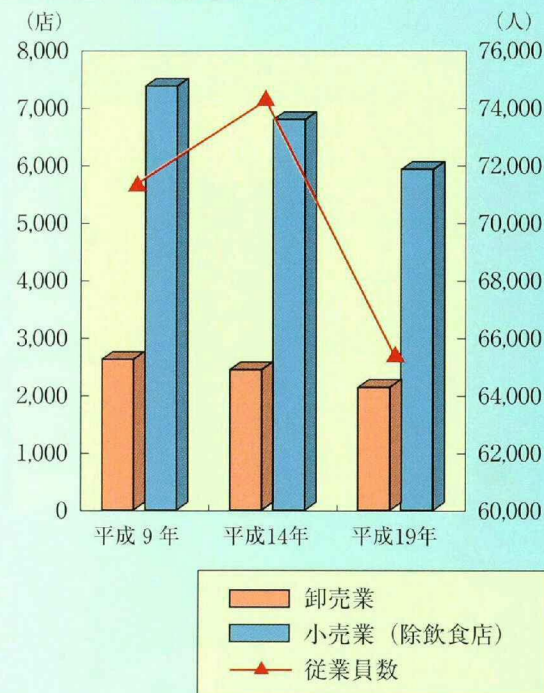
民営事業所の従業者数は、271,685人で4,866人減少し、対前回増減率△1.8%となっている。

産業別に見てみると、最も多いのは卸売・小売業で74,787人(構成比24.9%)、続いてサービス業の48,058人(同16.0%)となっている。以下は、医療・福祉、飲食店・宿泊業、建設業、教育・学習支援業の順となっている。

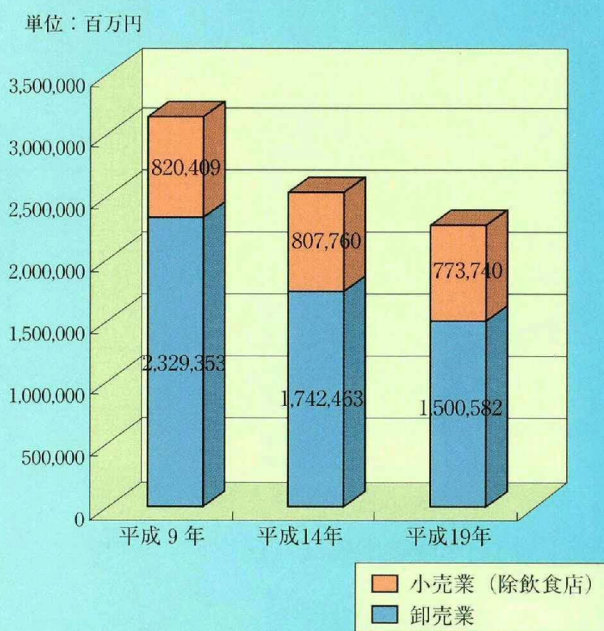
◆ 商 業

商店数 8,036店 (対前回増減率△12.7%)
 従業者数 65,365人 (対前回増減率△12.1%)
 年間商品販売額 2兆2,743億2,273万円 (対前回増減率△10.8%)

■商店数・従業員数の推移

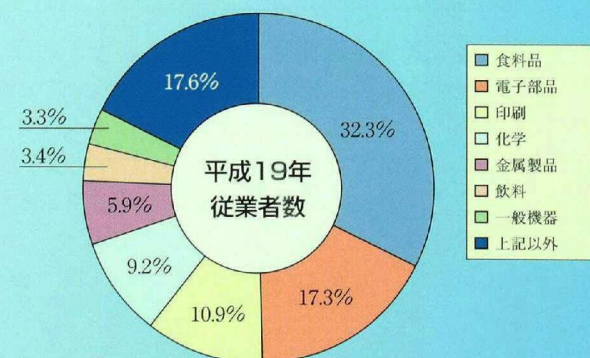
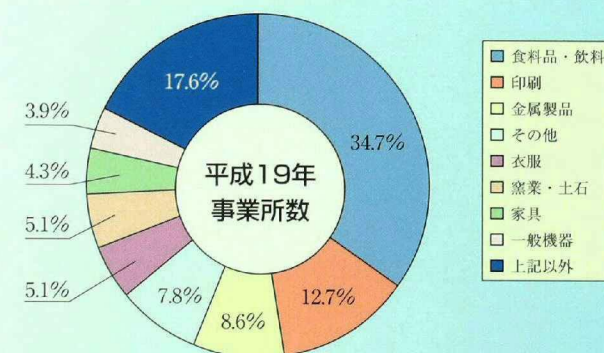
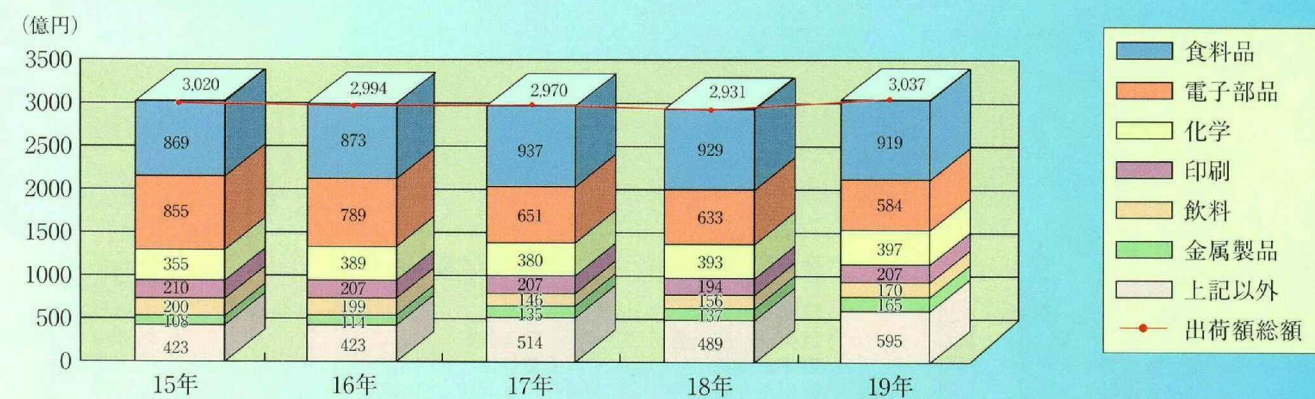


■年間商品販売額の推移



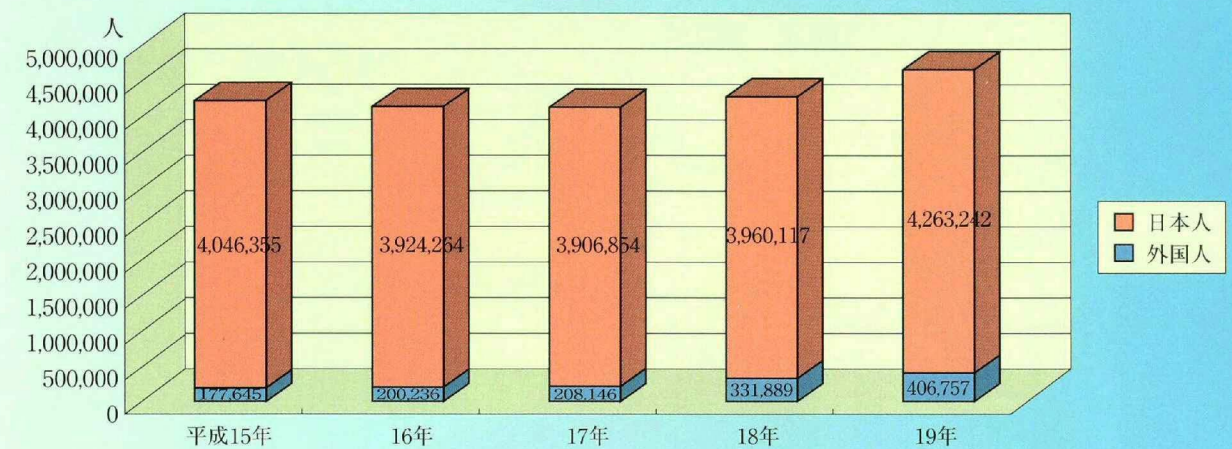
◆ 工 業

■工業 (従業者数4人以上)

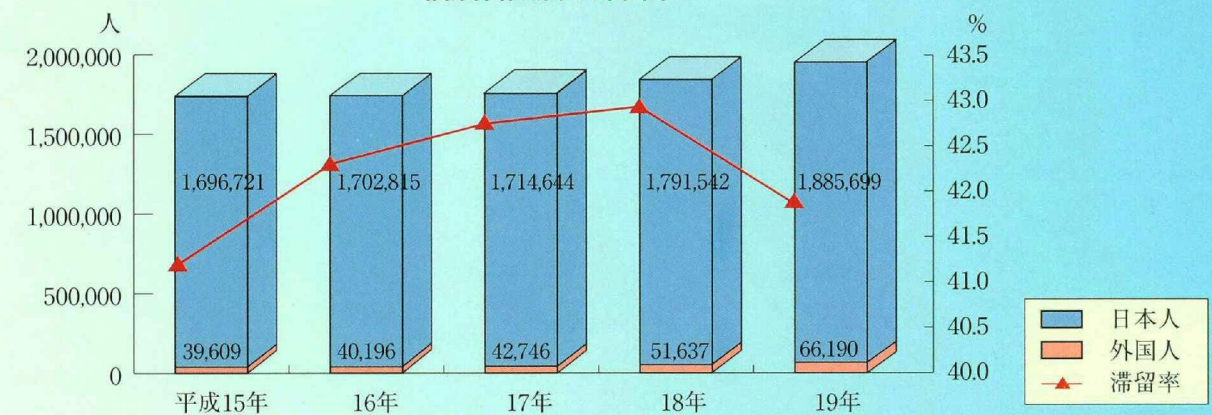


◆ 観 光

観光客数



宿泊者数及び滞留率



■主要観光施設

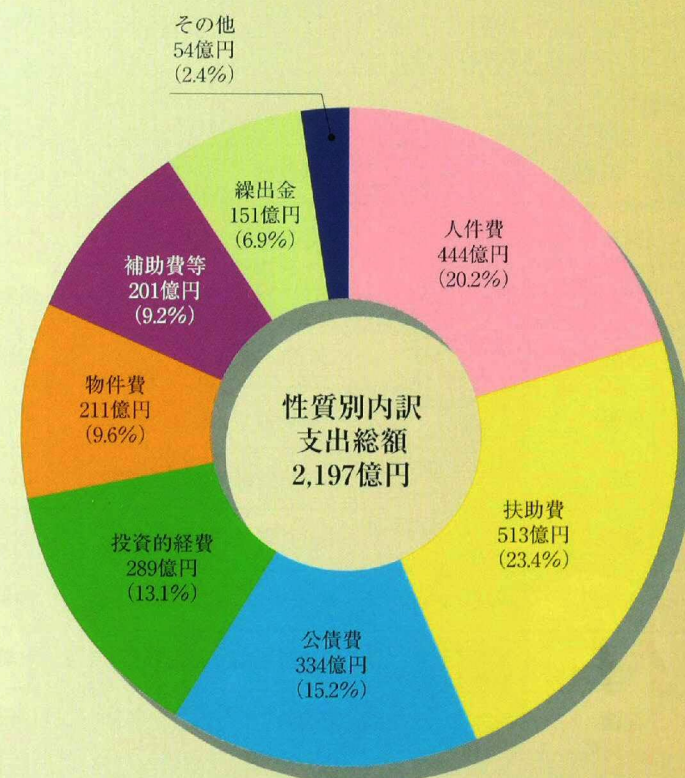
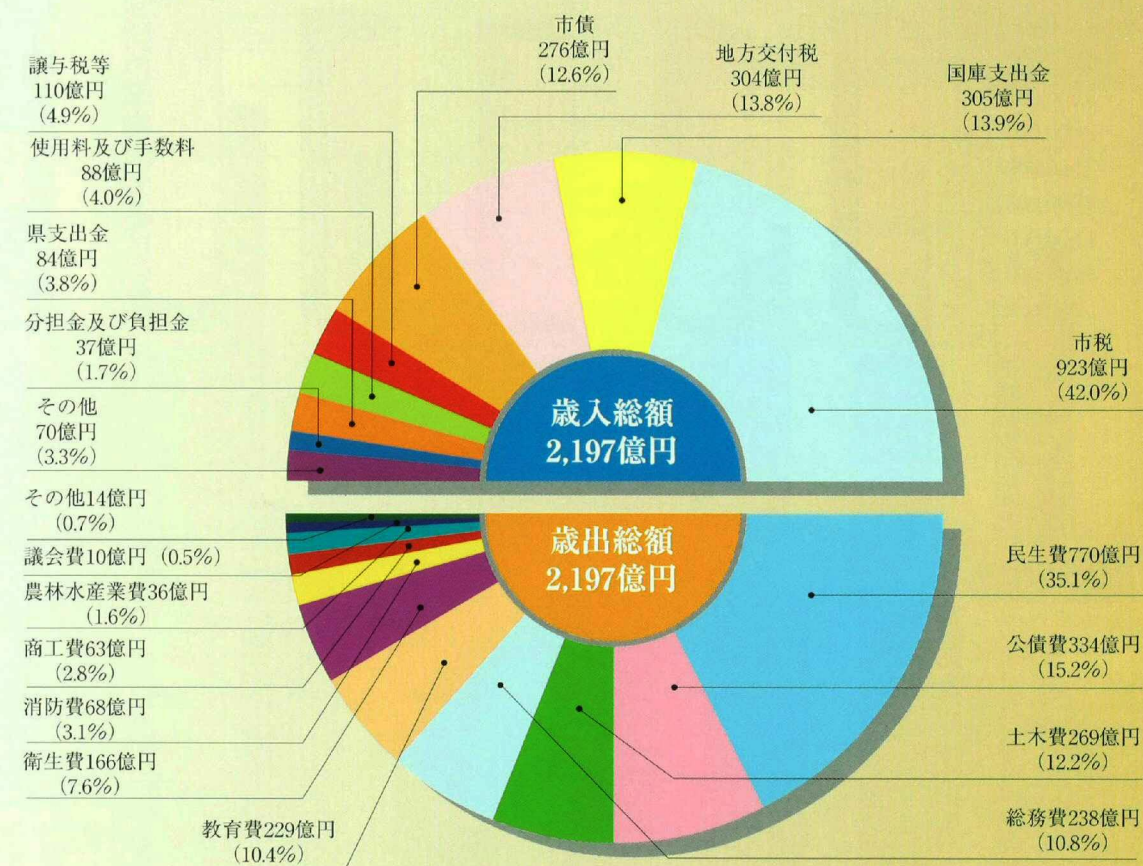
名 称	所在地	名 称	所在地	名 称	所在地	名 称	所在地
熊本城	本丸	監物台樹木園	二の丸	伝統工芸館	千葉城町	水の科学館	八景水谷
旧細川刑部邸	古京町	徳富記念園	大江	神風連資料館	黒髪	五高記念館	黒髪
水前寺成趣園	水前寺公園	県立美術館 (本館)	二の丸	小泉八雲 熊本旧居	安政町	フードパルクもと	貢町
動植物園	健軍	県立美術館 (分館)	千葉城町	峠の茶屋公園	河内町岳	武蔵塚公園	龍田弓削
立田自然公園	黒髪	熊本洋学校教師 ジェーンズ邸	水前寺公園	くまもと工芸会館	川尻	金峰森の駅 みちくさ館	河内町岳
北岡自然公園	横手	夏目漱石内坪井旧居	内坪井町	御馬下の角小屋	四方寄町	熊本市現代美術館	上通町
熊本博物館	古京町	島田美術館	島崎	リデル、ライト 両女史記念館	黒髪		
熊本国際民芸館	龍田	雲巖禅寺・五百羅漢・霊巖洞	松尾町平山	後藤山山記念館	水前寺		
本妙寺 (宝物館)	花園	横井小楠記念館	沼山津	近代文学館	出水		

財 政

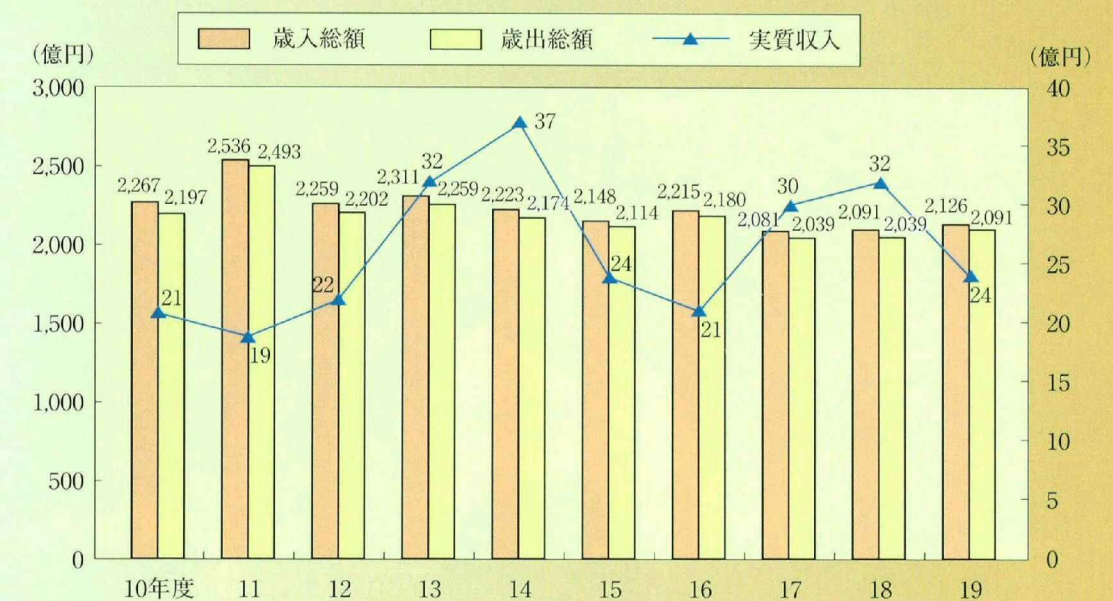
Kumamoto City

■平成21年度一般会計当初予算

【歳入・歳出】



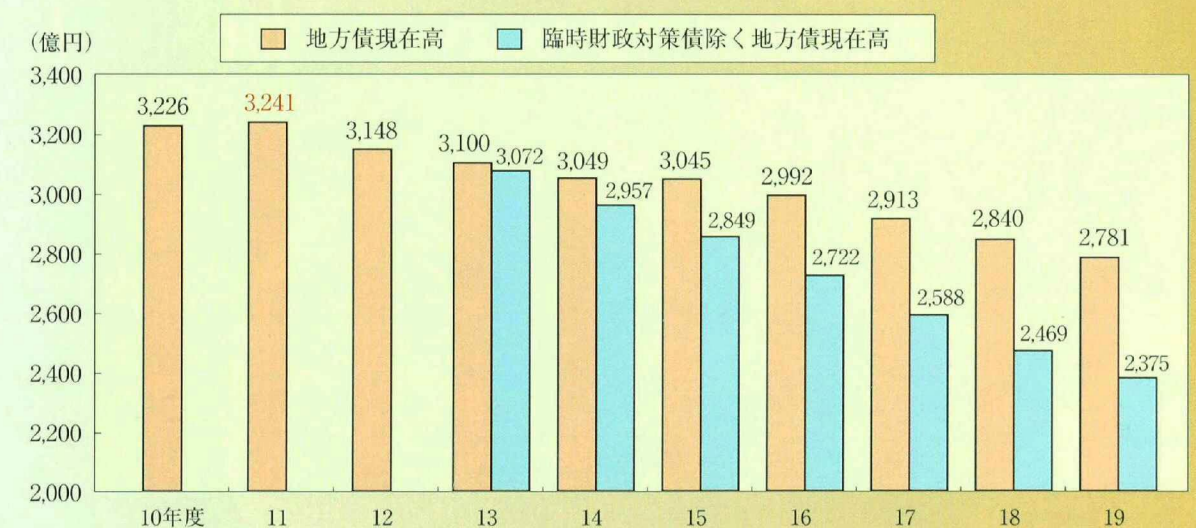
■一般会計歳入・歳出決算額の推移



実質収支は、地方公共団体の財政運営が良好かどうか判断する重要な指標の一つですが、ここ数年は20～30億円の黒字決算を続けています。

※ 実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

■普通会計市債現在高の推移



財政の中期見通しの策定などによる計画的な財政運営により、市債残高は減少を続けています。

政令指定都市を目指して

政令指定都市では、区役所が設置され、地域の実情に応じた身近な行政サービスの提供が可能となり、行政権限拡大、移譲によるサービスの提供など行政サービスの向上が図られます。また、財源の拡充により、まちづくりの一層の推進を図ることができ、さらには、知名度アップによる地域経済の活性化が期待されます。

そこで本市では、政令指定都市移行に向け、今後次のような取り組みを進めます。

1

熊本都市圏における将来ビジョンを描くとともに、その実現に向けた広域連携のあり方について、産・学・官・民の協働により検討します。

2

市政改革プランに基づくまちづくりや行財政改革を積極的かつ着実に推進し、行財政の運営能力を高め、政令指定都市にふさわしい行政体制の整備を進めます。

3

市民協働の推進や住民サービスの向上、及び地域の特性に応じた住民主体のまちづくりを進めるため、身近なサービス体制の整備をはじめとした都市内分権に取り組みます。

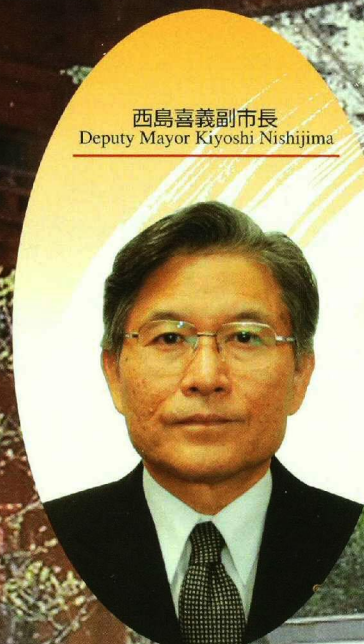
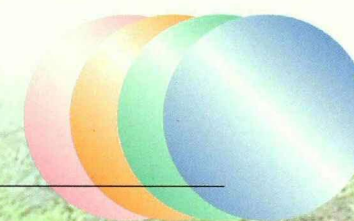
TARGET

豆知識

写真は富合町にある「六殿神社の楼門」で、釘を一本も使わない「釘なし門」。明治40年県下で最初に国から重要文化財の指定を受けました。

行政

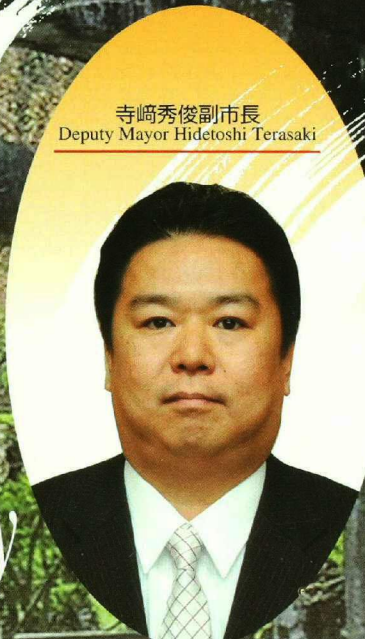
Municipal administration



西島喜義副市長
Deputy Mayor Kiyoshi Nishijima



幸山政史市長
Mayor Seishi Kohyama

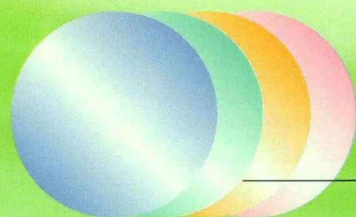


寺崎秀俊副市長
Deputy Mayor Hidetoshi Terasaki

Kumamoto City

歴代市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉村大八	明治 22. 5. 6	明治 26. 7. 9	第12代	石坂繁	昭和 20.10. 4	昭和 21. 3.11
2	松崎為己	" 26. 9.15	" 30. 8. 2	13・14	福田虎亀	" 21. 6.14	" 23. 2. 9
3	辛島格	" 30. 9.13	大正 2. 1.20	15	佐藤真佐男	" 23. 4. 7	" 27. 3. 7
4	山田珠一	大正 2. 4. 2	" 3.10.10	16	林田正治	" 27. 3.20	" 31. 2.23
5	依田昌兮	" 4. 1.14	" 6. 9. 3	17・18	坂口主税	" 31. 3.16	" 38. 1. 4
6	佐柳藤太	" 6.11.20	" 10.11.19	19・20	石坂繁	" 38. 2.15	" 45.11.26
7	高橋守雄	" 11. 1.19	" 14. 7.13	21~24	星子敏雄	" 45.12.20	" 61.12. 6
8	辛島知己	" 14. 9.14	昭和 4. 7. 4	25・26	田尻靖幹	" 61.12. 7	平成 6.12. 6
9	山田珠一	昭和 5. 2. 5	" 9. 4.17	27・28	三角保之	平成 6.12. 7	" 14.12. 2
10	山隈康	" 9. 5.14	" 17. 5.13	現市長	幸山政史	" 14.12. 3	在任中
11	平野龍起	" 17. 6.25	" 20. 8.10				



市議会

City Council



竹原孝昭議長



田中誠一副議長

市議会は、市民から選ばれた議員49名で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団(18名)、くまもと未来(10名)、社民・民主・人(ヒューマン)市民連合(10名)、公明党熊本市議団(7名)、日本共産党熊本市議団(3名)、自由クラブ(1名)の6会派が結成されています。

会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は総務・教育市民・保健福祉・環境水道・経済・都市整備の6委員会に分かれ、所管部門の事務を調査し、議案などの審査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置されますが、付議された事件を審査するもので、現在、政令指定都市実現に関する特別委員会・出資団体等の調査に関する特別委員会・中心市街地の活性化に関する特別委員会の各特別委員会があります。

■歴代市議会議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治22.4.26	明治24.1.21	17	打出信行	昭和34.6.12	昭和36.3.24	33	内田幸吉	昭和61.12.15	昭和62.4.3
2	興津景章	" 24.1.22	" 28.5.13	18	寸坂幸夫	" 36.3.24	" 38.4.30	34	西村建治	" 62.5.22	" 63.12.16
3	河原惟親	" 28.5.14	" 31.5.22	19	阿部次郎	" 38.5.18	" 40.3.18	35	村上春生	" 63.12.16	平成2.3.26
4	吉永為己	" 31.5.23	" 36.2.5	20	井上常八	" 40.3.18	" 40.12.7	36	矢野昭雄	平成2.3.26	" 3.4.30
5	山田珠一	" 36.2.6	" 37.4.30	21	石井辰雄	" 41.7.4	" 42.4.30	37	嶋幾雄	" 3.5.17	" 5.12.3
6	吉永為己	" 37.5.27	大正2.4.30	22	阿部次郎	" 42.5.20	" 43.7.3	38	中村徳生	" 5.12.3	" 7.4.30
7	林千八	大正2.5.10	" 6.4.30	23	坂梨田露	" 43.7.13	" 45.12.4	39	荒木哲美	" 7.5.19	" 9.3.27
8	山隈康	" 6.5.15	" 10.9.30	24	黒田弥一郎	" 45.12.4	" 46.4.30	40	主海信雄	" 9.3.27	" 11.4.30
9	迫源次郎	" 10.10.14	" 14.9.30	25	落水清	" 46.5.20	" 48.6.6	41	江藤正行	" 11.5.21	" 13.6.8
10	山隈康	" 14.10.12	昭和9.5.7	26	古川国雄	" 48.6.6	" 50.4.30	42	白石正一	" 13.6.8	" 14.6.18
11	平野龍起	昭和9.5.8	" 17.6.14	27	紫垣正良	" 50.5.16	" 52.6.4	43	宮原政一	" 14.6.18	" 15.4.30
12	佐藤真佐男	" 17.7.23	" 22.4.29	28	上田堅太	" 52.6.4	" 54.4.30	44	落水清弘	" 15.5.23	" 16.9.7
13	佐藤真佐男	" 22.6.9	" 23.4.7	29	島永慶	" 54.5.14	" 56.12.8	45	古川泰史	" 16.9.7	" 17.12.20
14	大塚勇次郎	" 23.6.5	" 26.4.29	30	藤山増美	" 56.12.8	" 58.4.30	46	税所史	" 17.12.20	" 19.4.30
15	大塚勇次郎	" 26.5.15	" 30.4.30	31	宮原光男	" 58.5.18	" 60.9.6	47	牛嶋弘	" 19.5.24	" 20.12.22
16	兼坂安次	" 30.5.21	" 34.4.8	32	大石文夫	" 60.9.6	" 61.12.15	48	竹原孝昭	" 20.12.22	在任中

■歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	下田直	明治22.4.26	明治24.1.21	20	加川恒次	" 23.6.5	" 26.4.29	39	北口政義	" 60.9.6	" 61.12.15
2	下田耕造	" 24.1.22	" 31.5.22	21	北川利	" 26.5.15	" 28.9.5	40	吉村政義	" 61.12.15	" 62.4.3
3	片山甚十郎	" 31.5.23	" 32.2.7	22	上野勉	" 28.9.25	" 30.4.30	41	竹本裕	" 62.5.22	" 63.12.16
4	林定男	" 32.2.8	" 36.2.5	23	森吉吉次	" 30.5.21	" 32.12.28	42	村本裕	" 63.12.16	平成2.3.26
5	出田彦太郎	" 36.2.6	" 36.2.11	24	吉村貞次	" 34.6.12	" 35.3.21	43	佐藤裕	平成2.3.26	" 3.4.30
6	園部正雅	" 36.2.12	" 36.5.11	25	坂梨田露	" 35.3.21	" 37.7.9	44	西田寛治	" 3.5.17	" 5.12.3
7	板垣正	" 36.5.12	" 37.2.12	26	吉村貞次	" 37.7.9	" 38.4.30	45	伊原寛正	" 5.12.3	" 7.4.30
8	有働格四郎	" 37.2.13	" 40.11.4	27	石井貞次	" 38.5.18	" 41.7.4	46	宮原誠彦	" 7.5.19	" 9.3.27
9	板垣正	" 40.11.14	" 42.1.27	28	吉村貞次	" 41.7.4	" 42.4.30	47	中沢一誠	" 9.3.27	" 11.4.30
10	河井場熊	" 42.1.28	大正2.4.30	29	佐古藤子	" 42.5.20	" 44.3.24	48	鈴木昌健	" 11.5.21	" 13.6.8
11	藤井誠	" 6.5.15	" 7.3.10	30	古岩尾	" 44.3.25	" 44.6.28	49	岡田健弘	" 13.6.8	" 14.6.18
12	藤野乱	" 7.3.11	" 10.9.30	31	岩尾富昇	" 44.9.13	" 46.4.30	50	奥田孝昭	" 14.6.18	" 15.4.30
13	藤上誠	" 10.10.14	" 14.9.30	32	阪本増美	" 46.5.20	" 48.6.6	51	竹原弘	" 15.5.23	" 16.9.7
14	水河龍起	" 14.10.12	昭和4.9.30	33	荒木増美	" 48.6.6	" 50.4.30	52	家田清文	" 16.9.7	" 17.12.20
15	河野龍	" 4.10.12	" 9.5.7	34	藤山増美	" 50.5.16	" 52.6.4	53	田尻文	" 17.12.20	" 19.4.30
16	橋本一	" 9.5.8	" 17.5.20	35	矢野重武	" 52.6.4	" 54.4.30	54	磯道中	" 19.5.24	" 21.3.25
17	西郷一	" 17.6.11	" 22.4.29	36	上田重武	" 54.5.14	" 56.12.8	55		" 21.3.25	在任中
18	大塚勇次郎	昭和22.6.9	昭和23.6.5	37	白石正	" 56.12.8	昭和58.4.30				
19				38		" 58.5.18	" 60.9.6				

■市議会議員(平成21年3月25日現在)

氏名	会派	氏名	会派
竹原孝昭	自民党	村上博	市民連合
田中誠一	未来	東すみよ	市民連合
くつき信哉	自民党	日和田よしこ	公明党
紫垣正仁	自民党	藤岡照代	公明党
田中敦朗	未来	坂田誠二	自民党
重村和征	未来	下川寛	未来
那須円	共産党	田尻清輝	未来
上田芳裕	市民連合	北口和皇	自由
前田憲秀	公明党	中松健児	市民連合
原亨	自民党	佐々木俊和	市民連合
澤田昌作	自民党	田尻将博	市民連合
倉重徹	自民党	田辺正信	市民連合
満永寿博	自民党	家入安弘	市民連合
大石浩文	未来	鈴木弘	公明党
高島和男	未来	牛嶋弘	自民党
田尻善裕	未来	古川泰三	自民党
上野美恵子	共産党	税所史熙	自民党
東美千子	市民連合	落水清弘	自民党
有馬純夫	公明党	江藤正行	自民党
三島良之	自民党	主海偉佐雄	自民党
齊藤聡	自民党	嶋田幾雄	自民党
津田征士郎	自民党	益田牧子	共産党
白河部貞志	未来	上村恵一	市民連合
藤山英美	未来	西泰史	公明党
		磯道文徳	公明党

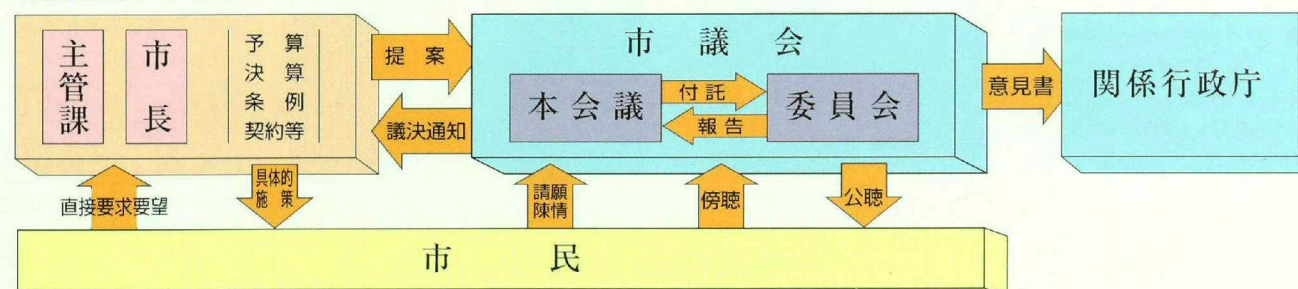


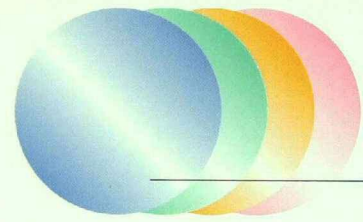
本会議場

■常任・特別委員会(平成21年4月1日現在)

名称	定数	所管事項
総務委員会	8	総務局、企画財政局、会計室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
教育市民委員会	8	市民生活局、教育委員会の所管に属する事項
保健福祉委員会	8	健康福祉局、子ども未来局、病院局の所管に属する事項
環境水道委員会	8	環境保全局、上下水道局の所管に属する事項
経済委員会	9	経済振興局、農業委員会の所管に属する事項
都市整備委員会	9	都市建設局、交通局の所管に属する事項
議会運営委員会	13	議会運営に関する調査
特別委員会		
政令指定都市実現に関する特別委員会	12	政令指定都市実現に向けた対策の推進に関する調査
出資団体等の調査に関する特別委員会	12	本市が出資する団体の業務運営のあり方や経営の健全化など諸問題の調査
中心市街地の活性化に関する特別委員会	12	中心市街地活性化及びこれに関連する事業の諸問題と対策に関する調査

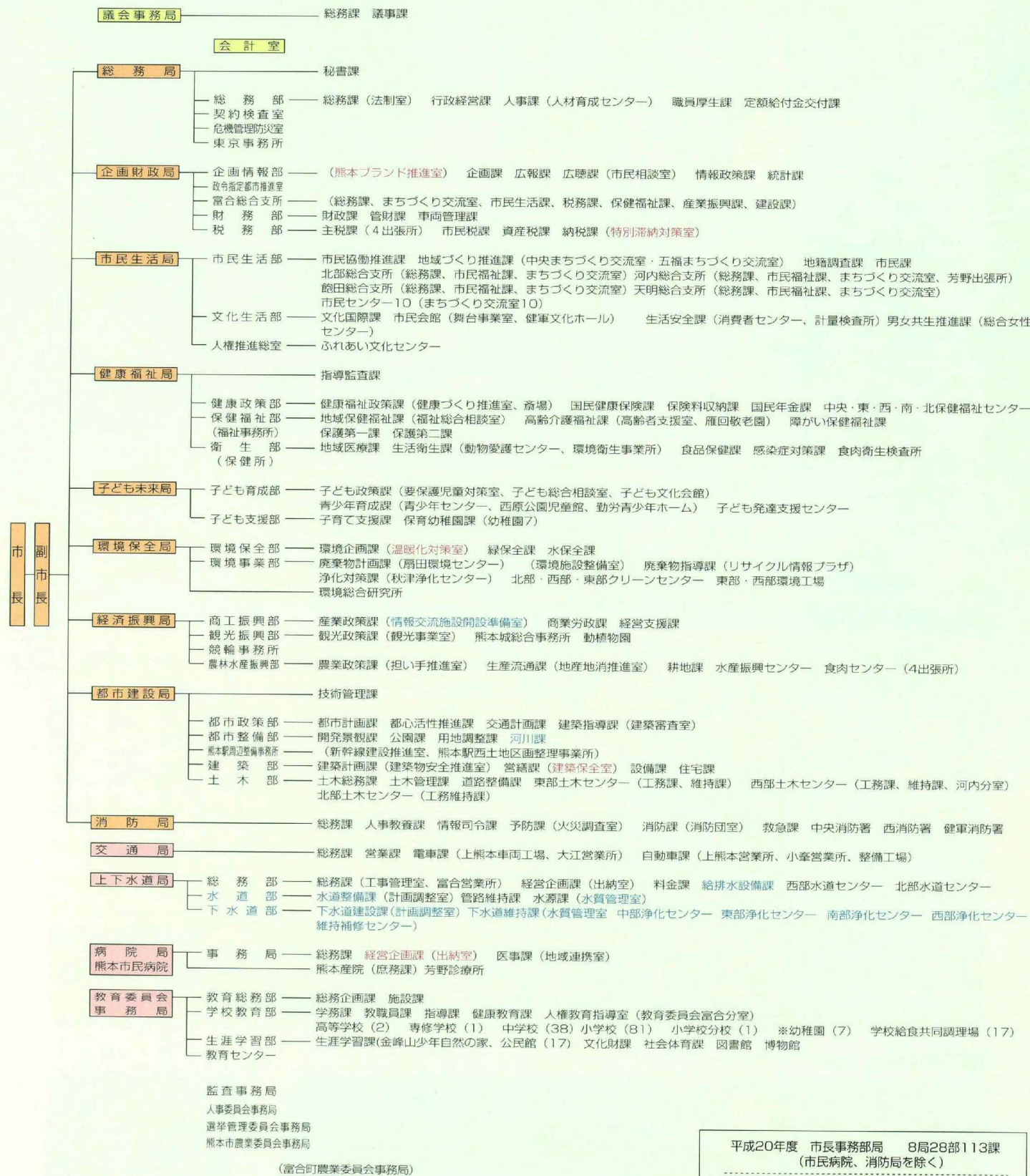
■市議会のしくみ





平成21年度 熊本市機構図

(平成21年4月1日現在)



平成20年度	市長事務部局	8局28部113課 (市民病院、消防局を除く)
全部局	14局40部154課	
平成21年度	市長事務部局	8局28部108課 (消防局を除く)
全部局	14局41部150課	

紅文字は新設、青文字は統合、名称変更等

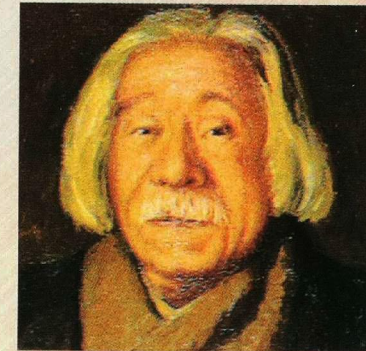
名誉市民

Kumamoto's Honorary Citizens

명예시민

徳富蘇峰(本名・猪一郎)氏
(昭和30年1月1日表彰)

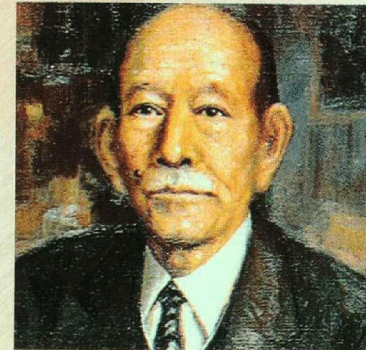
明治-昭和期の新聞人・歴史家。熊本洋学校・同志社に学び上京、帰郷して自由民権運動に参加し、大江義塾を開設。明治20年民友社を設立「国民之友」、同23年「国民新聞」を発行。「近世日本国民史」100巻を完結。生涯300冊の著作を残した。文久3年1月25日生れ、昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋守雄氏

(昭和30年1月1日表彰)

第7代熊本市長として、歩兵第23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽した。また、教育者として東洋語学専門小学校長、熊本商科大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。明治16年1月1日生れ、昭和32年5月6日死去、74歳。



細川護立氏

(昭和35年4月1日表彰)

旧肥後藩主細川家16代当主。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身者の育成援護に尽した。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献した。明治16年10月21日生れ、昭和45年11月18日死去、87歳。



福田令寿氏

(昭和35年4月1日表彰)

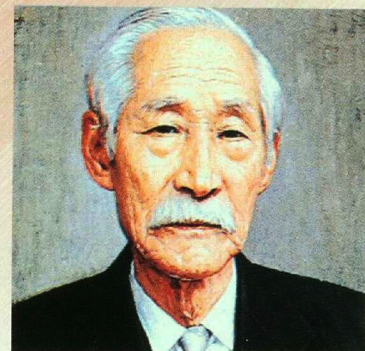
医師、教育者、社会事業家。熊本英学校で海老名弾正らに学び受洗。エジンバラ大医学部卒。産婦人科病院開業の傍ら無料診療所紫苑会治療所を創立。県医師会長、公選の県教育委員長、大江高校校長、県社会福祉協議会会長、熊本YMCA理事長、県原水禁理事長など歴任。キリスト教信仰に基づく生涯を貫いた。明治5年12月7日生れ、昭和48年8月7日死去、100歳。



宇野哲人氏

(昭和44年10月1日表彰)

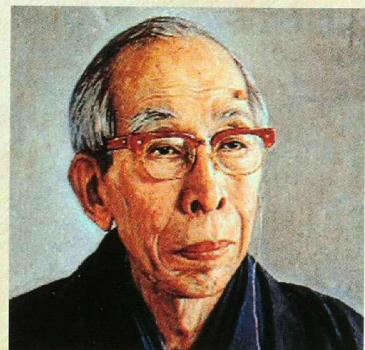
漢学者。東京大学名誉教授。東方文化学院院長、実践女子大学学長、東方学会会長を歴任。清国(中国)に留学して支那学を、ドイツで西洋哲学を学んだ。西洋哲学の方法を用いた中国哲学の叙述は一世を風靡した。明治8年11月15日生れ、昭和49年2月19日死去、98歳。



堅山南風(本名・熊次)氏

(昭和44年10月1日表彰)

日本画家。明治42年、22歳のとき上京。大正2年第7回文展に「霜月頃」が初入賞。その後、横山大観に師事した。昭和13年、文展審査員。戦後は文化勲章受賞など日本画壇の重鎮となる。代表作に日光輪王寺薬師堂天井画「鳴竜図」、熊本市市民会館縦横「火の国讃舞」などがある。明治20年9月12日生れ、昭和55年12月30日死去、93歳。



後藤是山(本名・祐太郎)氏

(昭和54年10月1日表彰)

新聞人、俳人。九州日日新聞社入社後、国民新聞社に留学、徳富蘇峰の薫陶を受けた。帰郷後九州日日新聞社の主筆、編集長として熊本の文化振興に貢献。昭和2年、俳誌「かはがらし」(のち「東火」)を創刊主宰した。著書に「肥後の勲皇」、編書に「肥後国誌」がある。明治19年6月8日生れ、昭和61年6月4日死去、99歳。



中村汀女(本名・破魔)氏

(昭和54年10月1日表彰)

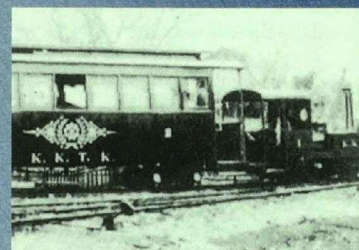
高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした「汀女俳句」は、句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献した。「ホトトギス」同人、「風花」を創刊主宰した。明治33年4月11日生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。



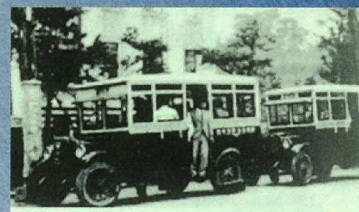
1800	明治22年 大日本帝国憲法公布	明治3年 4年	古城に医学校が創設 鹿藩置県により熊本県が設置 鎮西鎮台（九州及び中国西部を管轄）が設置 熊本洋学校が創立
	明治27年 日清戦争～28年	10年 20年 22年 24年	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失 第五高等学校（九州1校）が創立 市町村制が施行され熊本市が誕生 現在の白川公園前に市役所が開庁 門司・熊本間の九州鉄道が開通 熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がとる ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）五高に着任 塘林虎五郎が見察（大江学園）を設立 ハンナ・リデル女史が回春病院設立 夏目漱石が五高に着任 ジョン・メリー・コール神父がらい救済の徒勞院設立 市立避病院設立（後の白川病院）
1900	明治37年 日露戦争～38年	33年 34年 39年 40年 42年	市内に大洪水、白川橋流失し子飼橋付近溺死者多数 市内の電話が開通 熊本高等工業学校設立 安巳橋・水前寺間に軽便鉄道敷設 鹿児島本線全線開通
1910	大正3年	44年	市立実科高等女学校開校 市立工業徒弟高等学校開校 菊池軌道株式会社が上熊本・広町間敷設 熊本軌道が田崎・百貫港・田崎・高麗門に開通
1920	第一次世界大戦	9年 10年 11年 12年 13年 14年	第1回国勢調査 市人口70,338人、戸数13,817戸 隣接11カ町村合併（黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山） 市立実科高等学校が市立高等女学校となる 手取本町に市役所新庁舎完成 市営電車開通 開通に伴い大甲橋を架設 市三大事業（市電・上水道・23連隊移転）完成 記念共済会開催（入場者133万人） 出水村を市に合併
		昭和2年 3年 4年	長六橋を近代式鉄橋に架け替える 市営バス発足（バス17台） NHK熊本放送局でラジオ初放送 御大典記念事業として陸上競技場・野球場が完成 水前寺動物園が開園
1930		5年 6年 7年 10年 11年 14年	熊本市歌を制定 市営勸業館が新市街に開館 市公会堂新館が開館 白坪村を市に合併 画図村を市に合併 新興熊本大博覧会を開催 健軍村を市に合併 清水村を市に合併
1940	昭和18年 太平洋戦争～20年	15年	川尻町、日吉村、力合村を合併 市営バスに木炭車登場
	昭和21年 日本国憲法公布	17年 18年 19年 昭和20年 21年 23年 24年	九州日日新聞と九州新聞が統合され熊本日日新聞発足 健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する 市電氣局が市交通局と改称 市立本荘産院が発足 市立市民病院発足 市消防本部設置 市立母子寮を設置 「火の国まつり」開始 市立実務員養成所（後の実務商業）を開設 市立熊本保健所を上林に開設



市内の電話開通



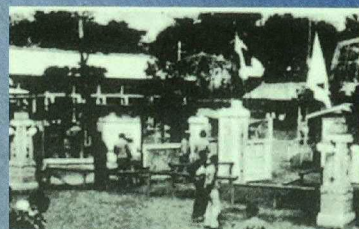
軽便鉄道



市バス



市役所新庁舎



水前寺動物園

1950	昭和26年 サンフランシスコ講和 条約調印	昭和27年 28年	市立博物館開館 田迎村、御幸村を市に合併 豪雨、大水害で市人口の66%が罹災 池上村、高橋村、城山村を市に合併 ラジオ熊本開局
		29年 30年 32年 33年	秋津村を市に合併 市電30年記念「交通観光博覧会」開催 松尾村を市に合併 小島村、龍田村を市に合併 大水害で市の33%浸水、山津波による死者、行方不明者 中島村を市に合併
1960	昭和39年 東京オリンピック開催	35年 37年 39年 43年 44年	熊本空港開設 熊本城天守閣再建完成 第15回国民体育大会を開催 天守閣再建記念「役員熊本大博覧会」 市総合計画策定 市民会館開館 熊本動物博覧会を開催（水辺動物園が完成）
1970		45年 46年 47年 51年 54年	託麻村を市に合併 九州縦貫自動車道（熊本ー植木間）開通 「森の都」宣言 地下水保全都市宣言 健康都市宣言 中国・桂林市と友好都市締結
1980		56年 61年 62年 平成元年	産業文化会館が開館 新市庁舎建設完成 総合体育館、青年会館開館 米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結 市制施行100周年「熊本百彩」開幕
1990	平成7年 阪神・淡路大震災	2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年	総合婦人会館・カルチャーセンターオープン 「水資源国際会議」を開催 「水の科学館」開館 熊本市と飽託郡4町が合併 南部スポーツセンターオープン 動植物園がオープン ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式 大名屋敷・旧細川刑部邸完成 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕 ゆうあいピック熊本大会開催 国際交流会館オープン 福井市と姉妹都市締結 環境総合センターオープン 環境保全都市宣言 中核市移行 くまもとお城まつり開幕
	平成10年 長野オリンピック開催	9年 10年 11年	さくらカード（優待証交付事業）スタート 男子世界ハンドボール選手権大会・熊本開催 超低床電車、ノンストップバス運行開始 「アクアドームくまもと」完成 中核市サミット'98in熊本開催 「くまもと未来国体」開催 全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと」開催 全国マスターズ陸上競技選手権大会を開催 「ひのくに新世紀総体」開催
2000		14年 15年	熊本市現代美術館オープン 国際環境都市会議くまもと2002開催 託麻スポーツセンター体育館オープン 「観光立市くまもと」都市宣言決議 アジア太平洋都市サミット第5回実務者会議開催 市政情報プラザ開設 個人情報の保護に関する条例施行 「熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会」設置 世界女性スポーツ会議くまもと開催 熊本城築城400年 熊本市中心市街地活性化基本計画認定 「ウェルバル熊本」オープン 熊本城本丸御殿落成一般公開 熊本市と富合町が合併
		16年 18年 19年 20年	



熊本城



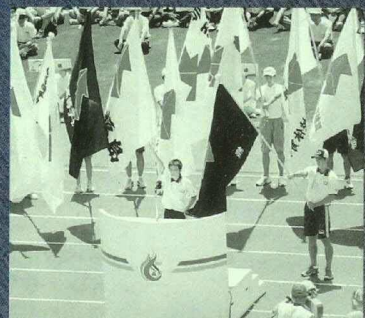
新市庁舎



四町合併



スポーツ都市宣言



国体



世界女性スポーツ会議くまもと

市民の くらし

Life in Kumamoto



世帯人口 1世帯当り2.4人



人口密度 1km²に2,511人



乗用自動車(軽自動車を含む) 1世帯に1.1台



出生 1日につき19.0人



死亡 1日につき14.6人



転入 1日につき79.6人



転出 1日につき79.7人



結婚 1日につき12.6組



離婚 1日につき4.0組



犯罪 1日に26.7件



火災 1日に0.6件



交通事故 1日に14.7件



酒 1人1日0.06リットル



市職員(消防職員も含む) 市民110人に1人



消防職員 市民1,072人に1人



水道使用量 1日1人あたり241ℓ



ごみの収集量 1日に771トン

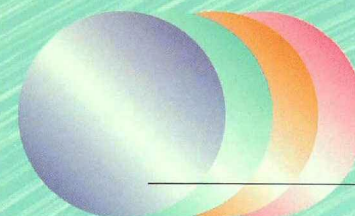


市税 市民1人当り135,769円



市の予算 市民1人当り309,789円

(人口関係は平成20年分、予算は平成20年度当初予算額、その他は平成19年又は19年度分の数値)



資料編

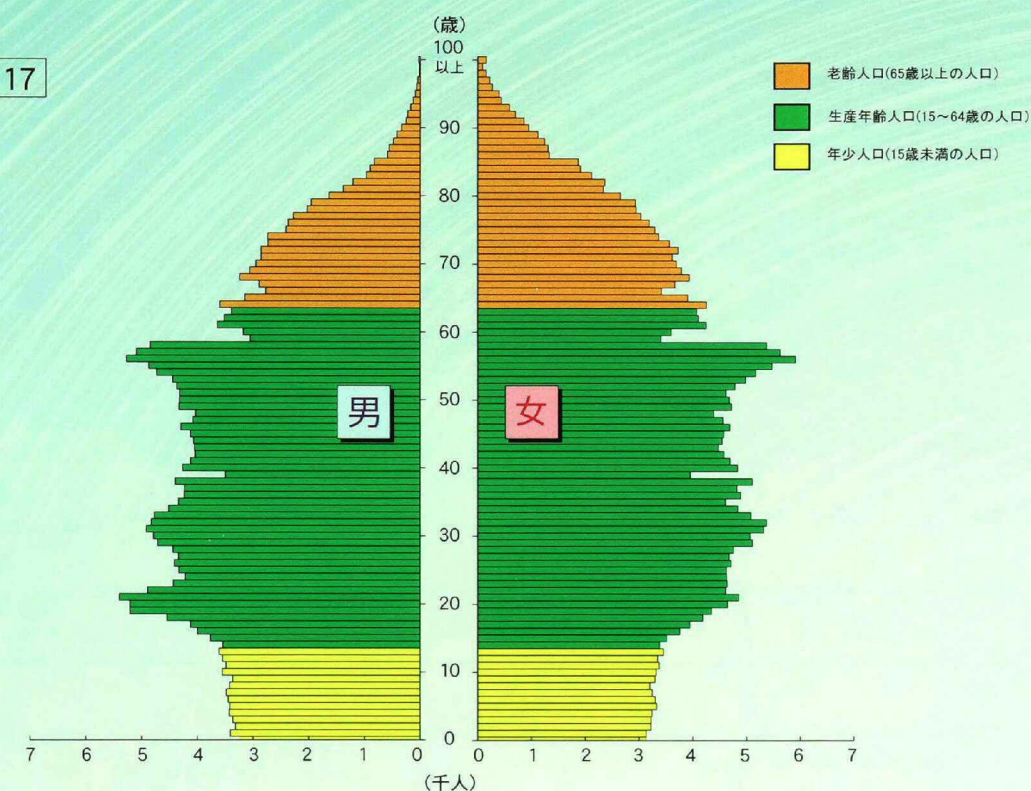
熊本市の人口推移

一進む少子高齢化

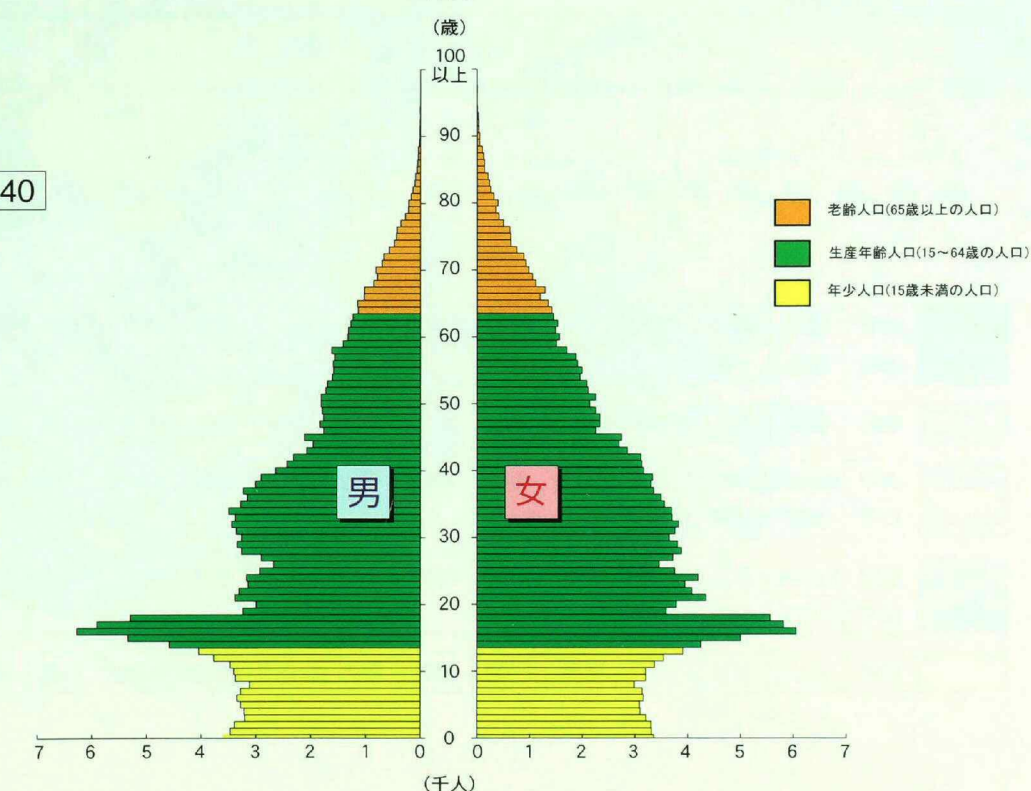
人口の推移を人口ピラミッドでみると、少子高齢化が急速に進んでいることがわかります。

人口ピラミッド(国勢調査結果) (注) 現市域組替

H17

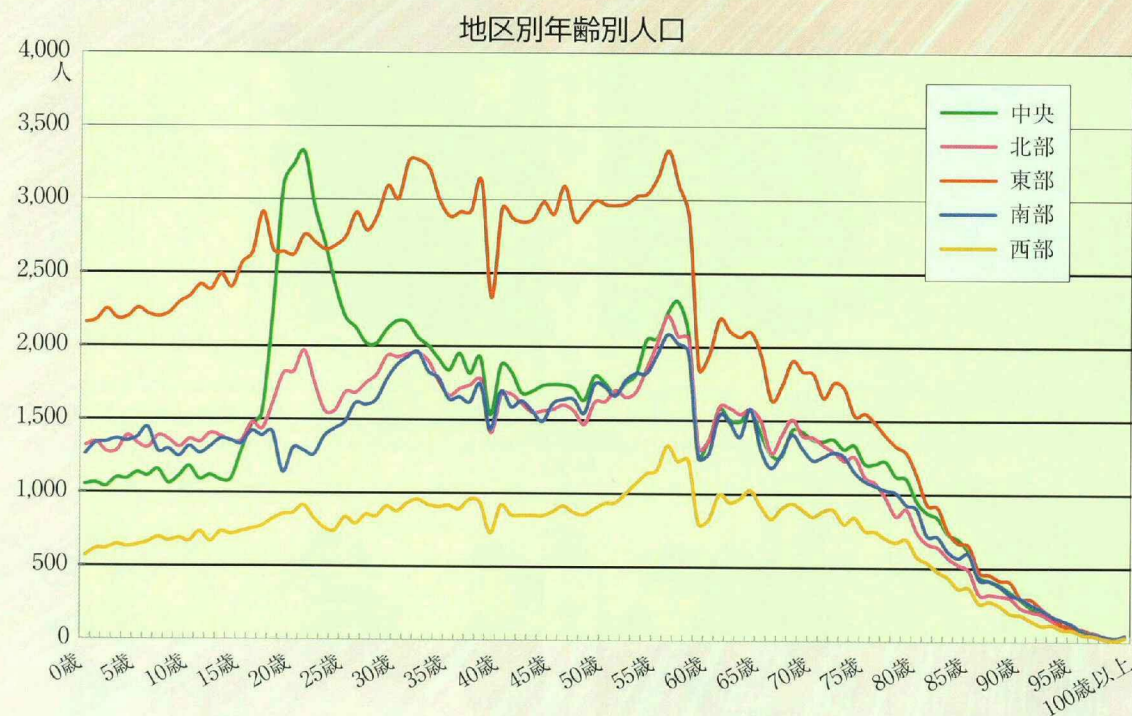


S40



Kumamoto City

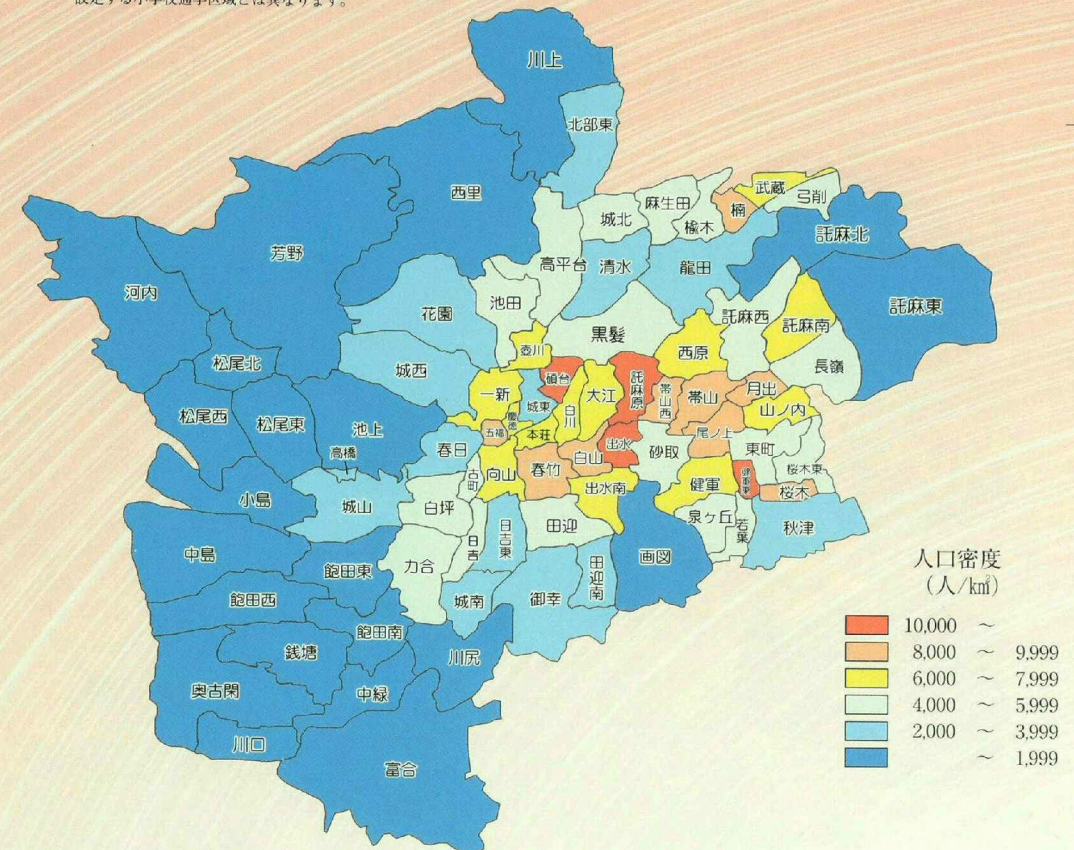
■熊本市の人口（平成17年国勢調査の結果）—年齢別、校区別ほか—



中央地区	城東	壺川	碩台	白川	大江	黒髪	託麻原	出水	白山	春竹	本荘	慶徳	五福	向山
	古町	春日	一新											
北部地区	池田	西里	川上	北部東	高平台	清水	城北	麻生田	楡木	楠	武蔵	弓削	龍田	
東部地区	西原	託麻西	託麻北	託麻東	託麻南	長嶺	月出	常山	常山西	砂取	尾ノ上	山ノ内	東町	桜木東
	桜木	秋津	若葉	健軍東	健軍	泉ヶ丘								
南部地区	画図	出水南	田迎	田迎南	御幸	川尻	中緑	川口	奥古閑	銭塘	鮑田西	鮑田南	鮑田東	力合
	城南	日吉東	日吉	富合										
西部地区	白坪	城山	高橋	池上	城西	花園	芳野	河内	松尾北	松尾西	松尾東	小島	中島	

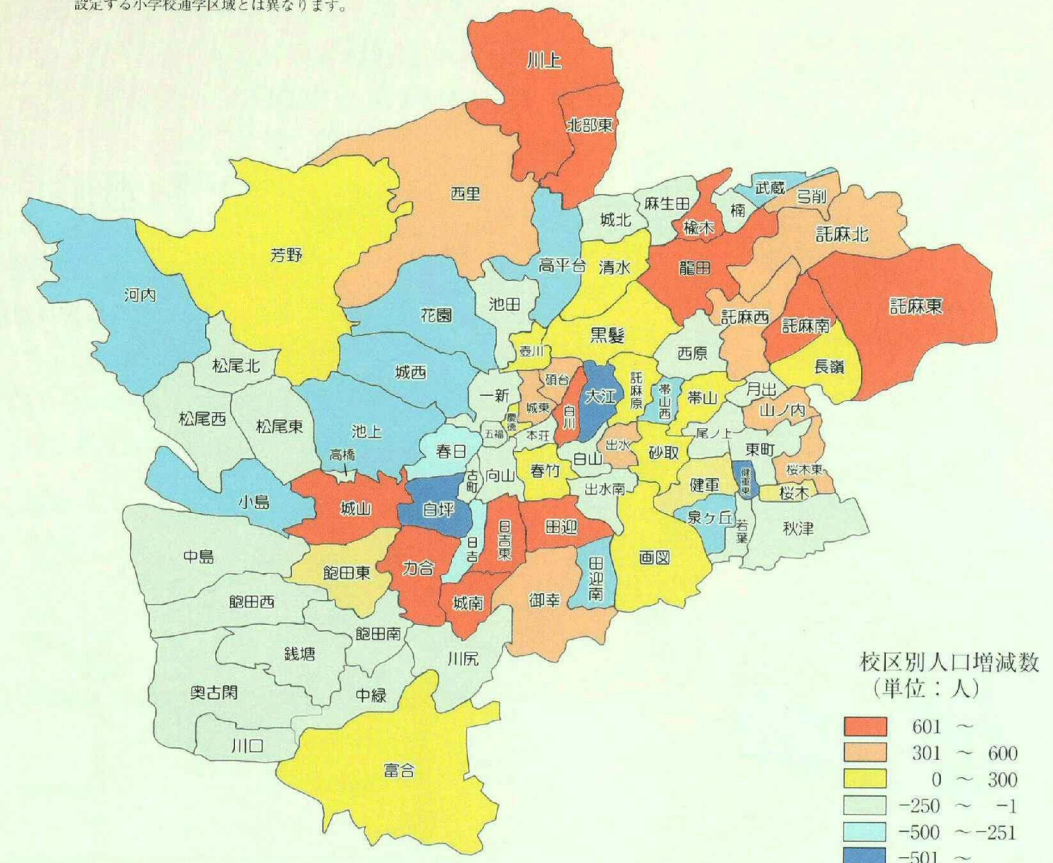
■校区別人口密度（平成17年度）

※ここで掲載する校区別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。



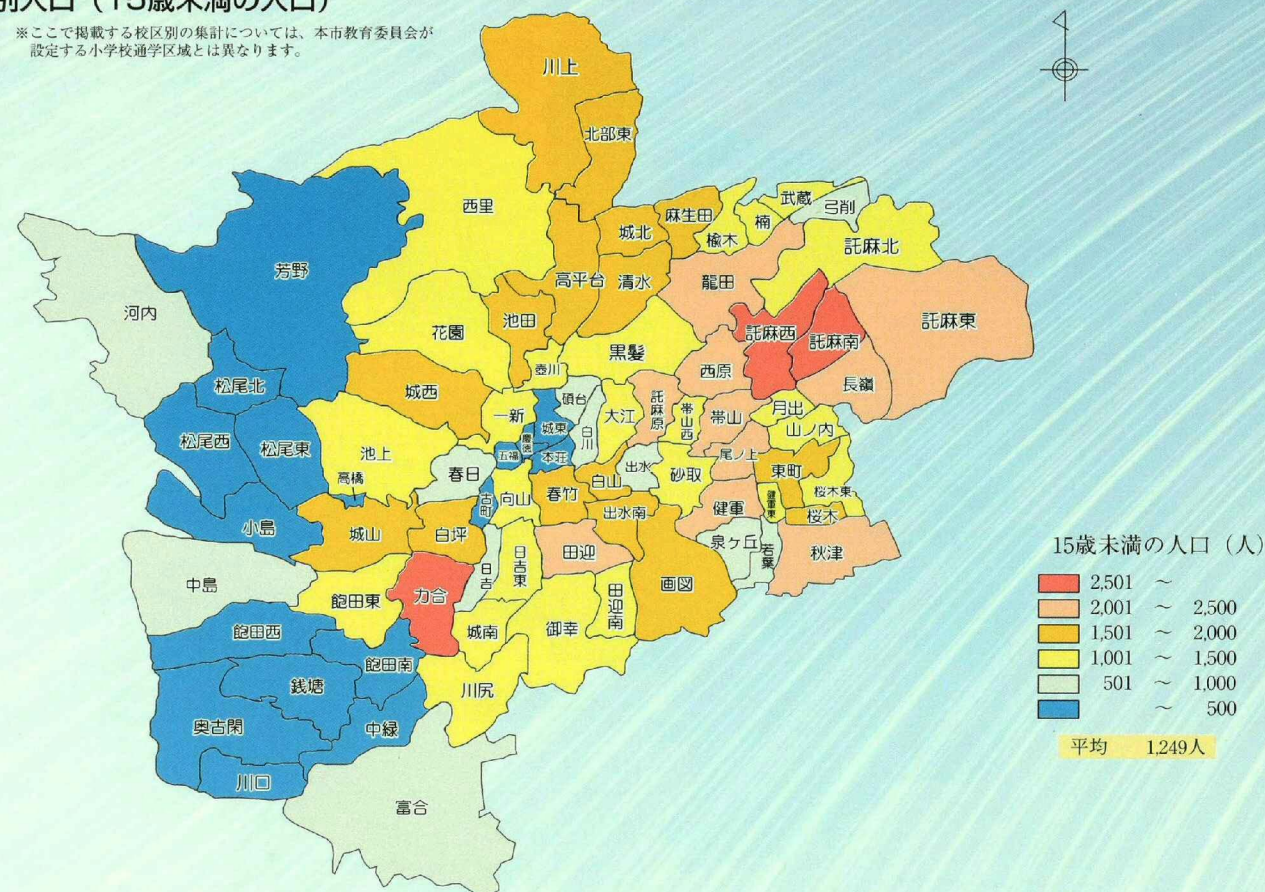
■校区別人口増減数（平成12年～平成17年）

※ここで掲載する校区別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。



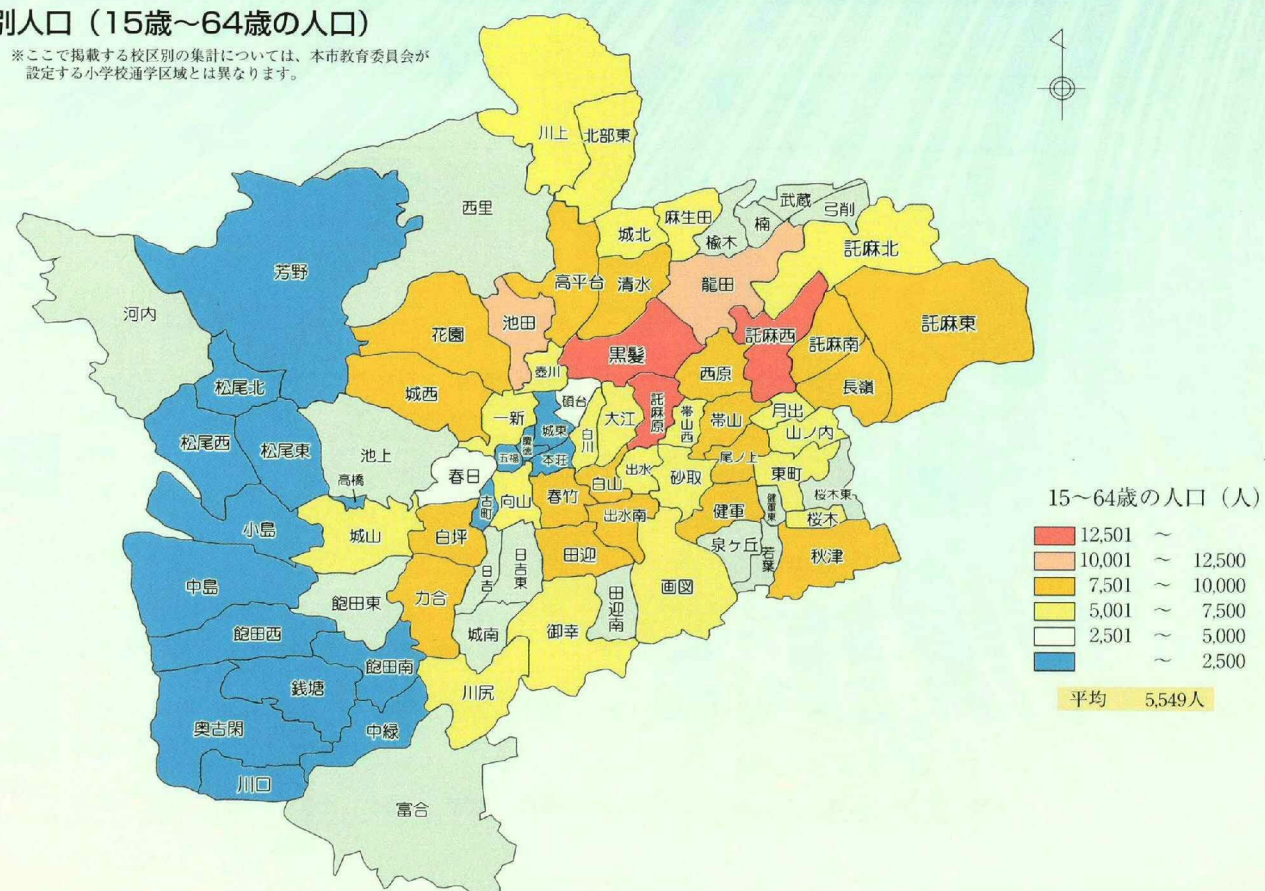
■校区別人口（15歳未満の人口）

※ここで掲載する校区別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。



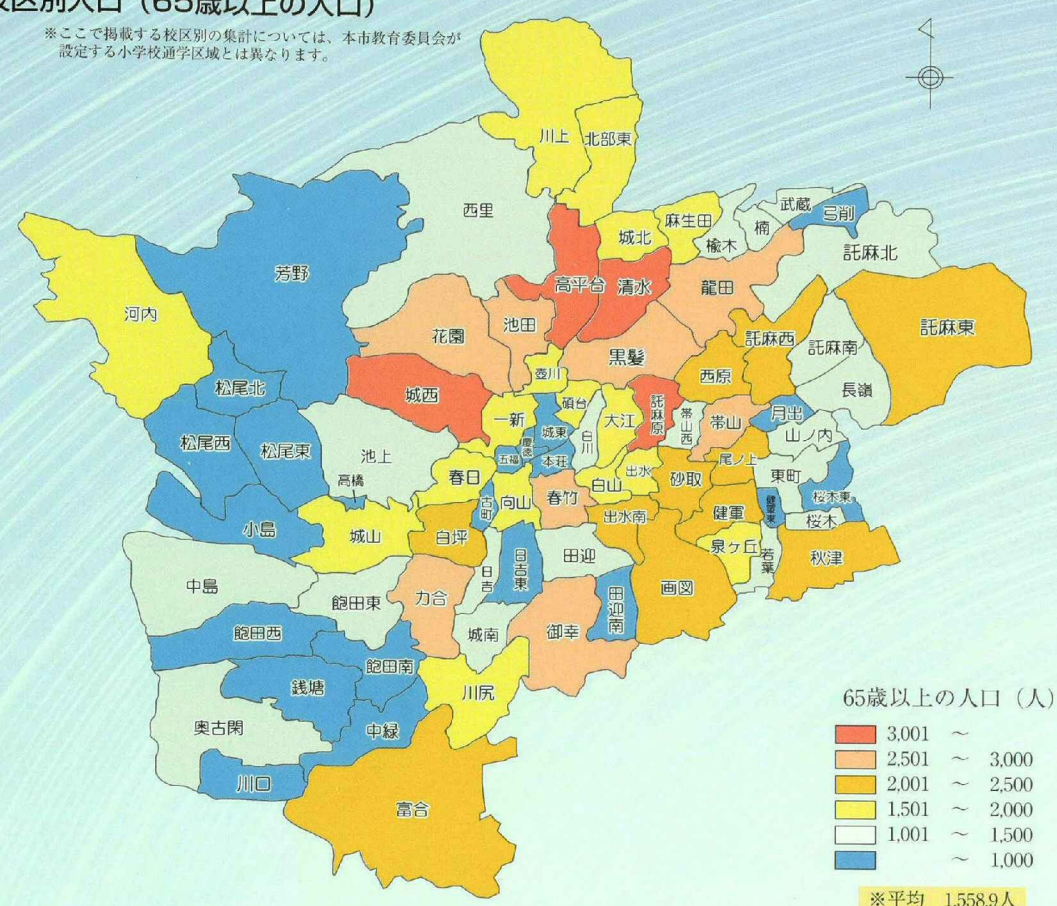
■校区別人口（15歳～64歳の人口）

※ここで掲載する校区別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。



■校区別人口（65歳以上の人口）

※ここで掲載する校区別の集計については、本市教育委員会が設定する小学校通学区域とは異なります。

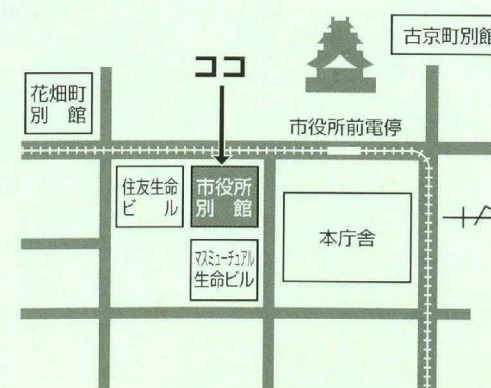


統計情報室（統計課）の紹介

- ・場 所 市役所別館（自転車駐輪場）6階
- ・主な蔵書 国勢調査報告書、その他統計調査報告書
市勢要覧、統計書、など
- ・閲覧自由 ・複写（有料）

ホームページによる情報提供

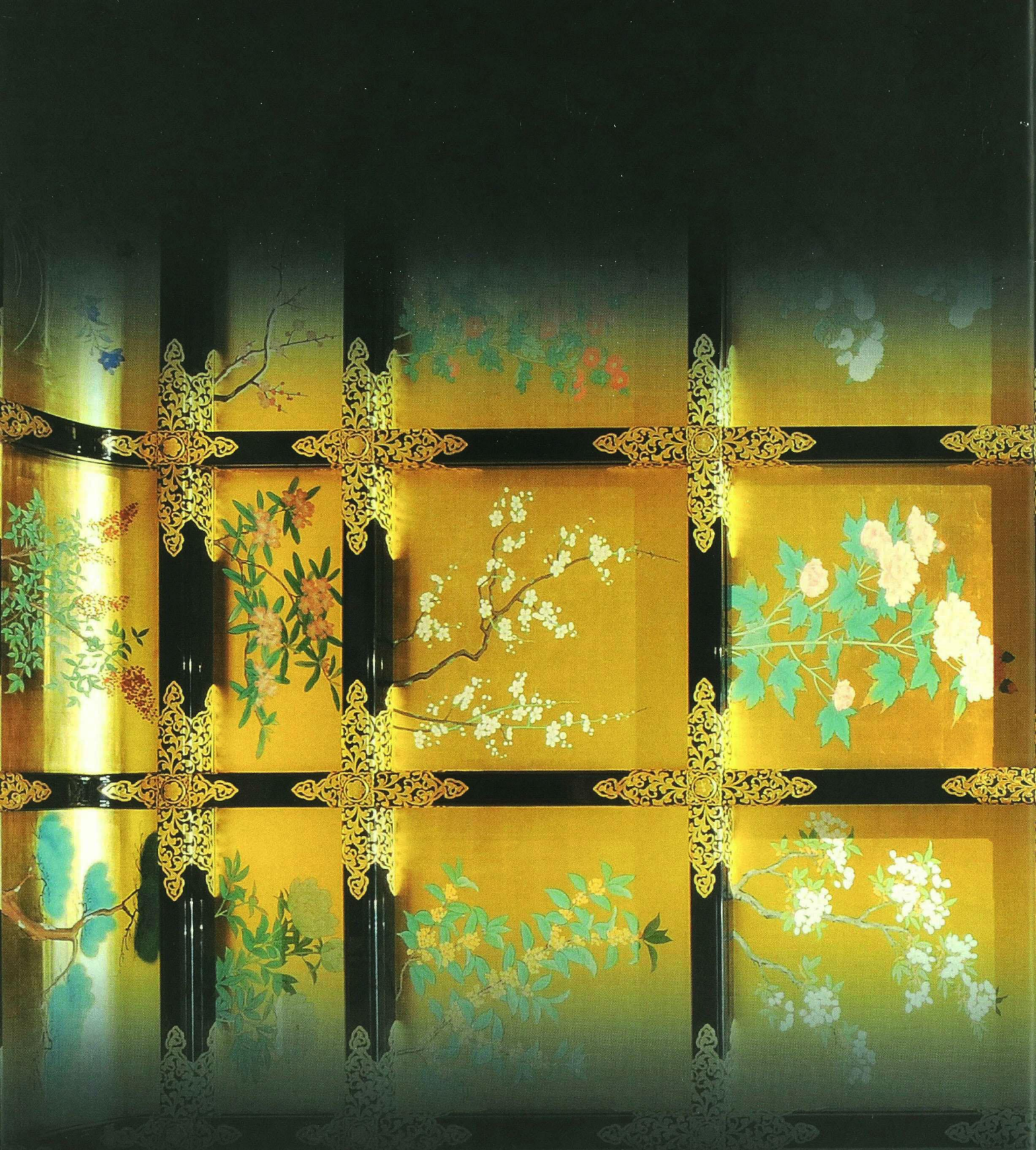
- ・「統計情報室」ホームページアドレス
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/tokei/>
- ・「統計でみる熊本市」ホームページアドレス
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/aramashi/tokei/top/index.htm>



Kumamoto City

平成20年度 熊本市勢要覧

印刷発行／平成21年4月
編集発行／熊本市企画財政局
企画情報部統計課
熊本市手取本町1番1号
TEL 096-328-2111
印刷所／コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291



熊本市

Guide to Kumamoto City
Administration and Life
구마모토시 시세 요람

